

第二期データヘルス計画基礎資料

目次

- 1.徳島支部加入者・事業所数、平均標準報酬月額、特定健康診査・特定保健指導対象者数 P3
- 2.事業所規模別、年齢階級別適用状況 P3
- 3.事業所業態別適用状況 P4
- 4.医療費総額、加入者1人当たり医療費の推移 P5
- 5.加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差) P6
- 6.加入者1人当たり医療費の状況(入院・入院外) P7
- 7.加入者1人当たり医療費の状況(歯科・その他) P8
- 8.医療費の三要素分解(入院) P9
- 9.医療費の三要素分解(入院外) P10
- 10.年齢階級別1人当たり医療費の状況(入院・入院外) P11
- 11.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外) P12～P20
- 12.疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外) P21～P29
- 13.加入者1人当たり糖尿病・腎不全にかかる医療費の状況(入院・入院外) P30～P31
- 14.徳島支部業態分類別被保険者1人当たり医療費の状況(入院・入院外) P32
15. 1.5次保健医療圏(県内6圏域)1人当たり医療費の状況(入院・入院外) P33
16. 1次保健医療圏(市町村別)1人当たり医療費の状況(入院・入院外) P34～P37
- 17.平均寿命・健康寿命の全国比較、10大死因による死亡者数及び死亡率 P38
- 18.患者調査年齢調整受療率 P39
- 19.特定健診におけるリスク因子の支部別特徴の要約(Zスコア) P40
- 20.問診票における回答状況の要約(Zスコア) P41
- 21.徳島支部業態分類別リスク保有率の状況 P42
22. 1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況 P43～P49
- 23.特定保健指導(積極的支援)による検査値の比較 P50

1.徳島支部加入者・事業所数、平均標準報酬月額、特定健康診査・特定保健指導対象者数

加入者数 268,707人(被保険者:162,039人 被扶養者:106,668人)

事業所数 14,454社

平均標準報酬月額 259,696円

年度	対象者数	受診者数	実施率	実施率(全国計)
平成24年度	101,763人	39,965人	39.3%	39.9%
平成25年度	103,411人	43,773人	42.3%	42.6%
平成26年度	108,040人	45,689人	42.3%	43.6%
平成27年度	111,673人	52,075人	46.6%	45.6%
平成28年度	114,349人	54,641人	47.8%(29位)	47.5%

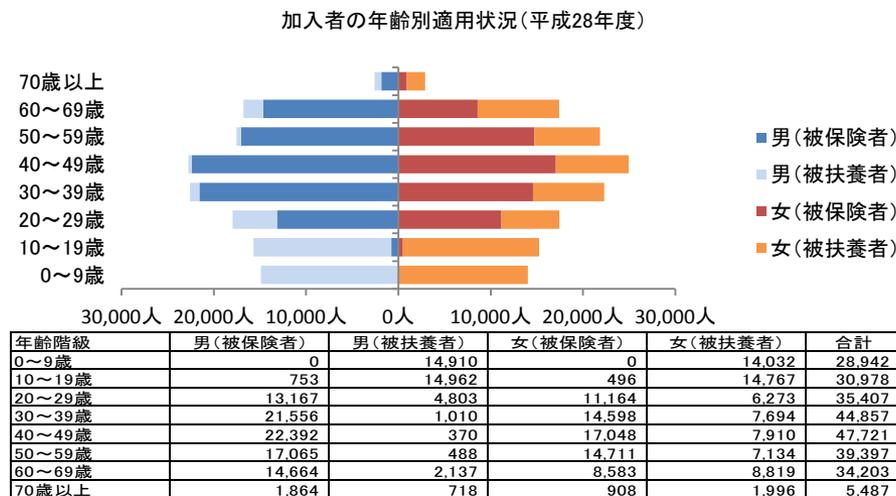
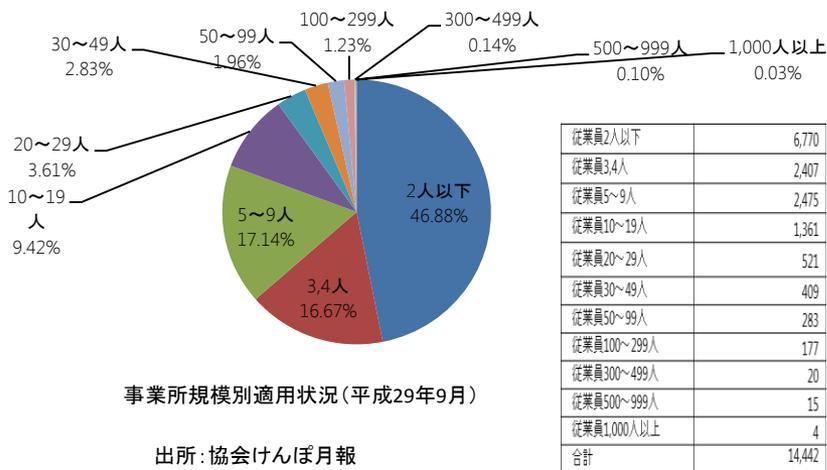
年度	保健指導対象者数	保健指導終了者数	実施率	実施率(全国計)
平成24年度	8,013人	2,035人	25.4%	13.1%
平成25年度	8,571人	2,262人	26.4%	15.0%
平成26年度	8,601人	2,337人	27.2%	15.0%
平成27年度	10,014人	1,763人	17.6%	12.8%
平成28年度	10,638人	2,298人	21.6%(15位)	14.3%

※加入者数・事業所数、平均標準報酬月額(平成29年11月協会けんぽ月報より)、特定健康診査・特定保健指導対象者数・実施率(国報告データより)

※受診者数は、被保険者健診受診者・被扶養者健診受診者・事業者健診データ取得件数にかかるとの総数。

2.事業所規模別、年齢階級別適用状況

事業所規模別適用状況では、徳島支部約1万4千事業所のうち、2人以下の事業所が6,770事業所と全事業所の46.9%を占め、9人以下の事業所で全事業所の8割を占めています。年齢別適用状況では、40代が加入者の17.9%を占め、次いで30代が16.8%、50代が14.8%、20代が13.3%となっています。



3.事業所業態別適用状況

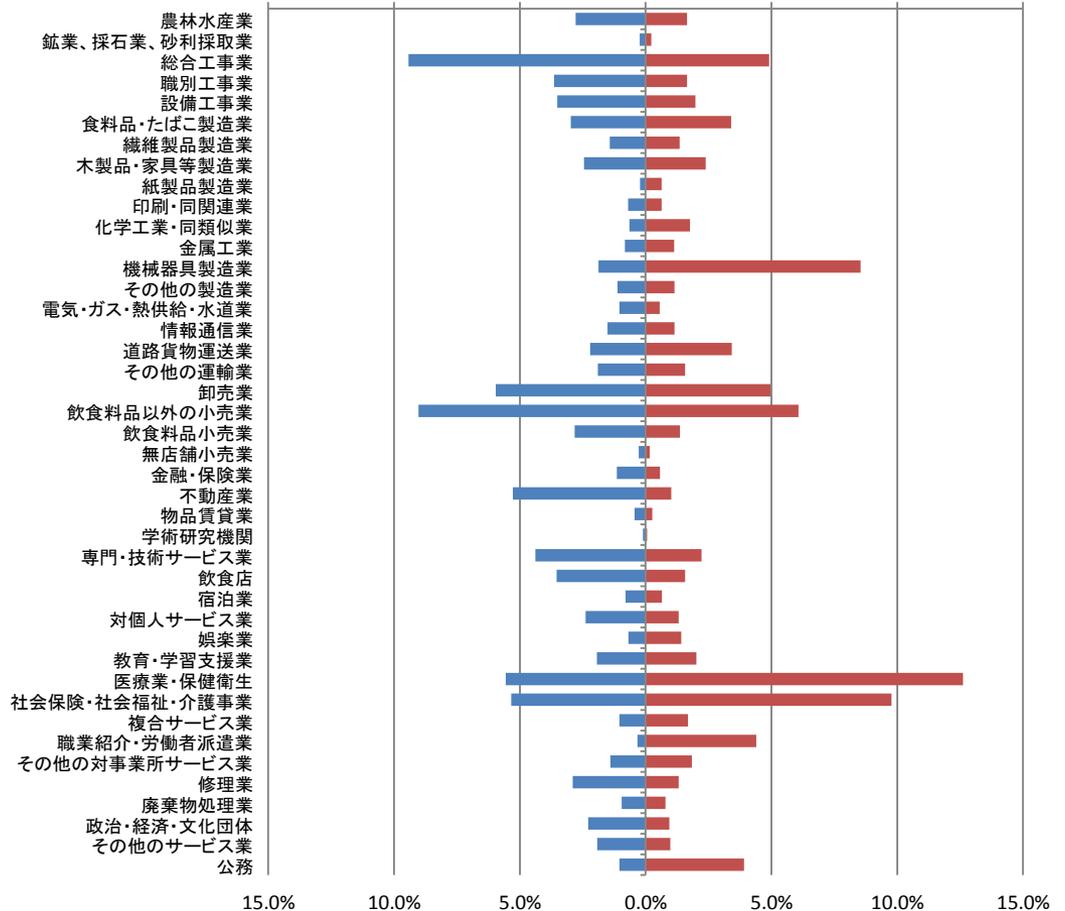
事業所業態別適用状況では、総合工事業が1,174事業所(9.4%)と一番多く、次いで飲食料品以外の小売業が1,125事業所(9.0%)、卸売業の742事業所(6.0%)、医療業・保健衛生の693事業所(5.6%)と続きます。

被保険者ベースで見ると、医療業・保健衛生が19,705人(12.6%)と一番多く、次いで社会保険・社会福祉・介護事業が15,253人(9.8%)、機械器具製造業が13,335人(8.5%)と続きます。

事業所業態別適用状況割合(平成29年3月)

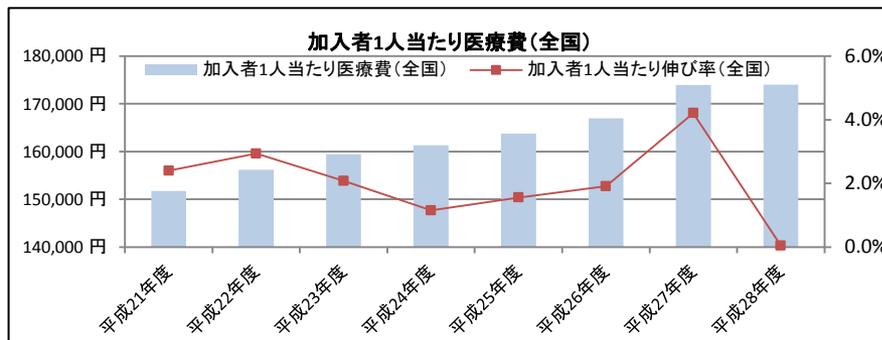
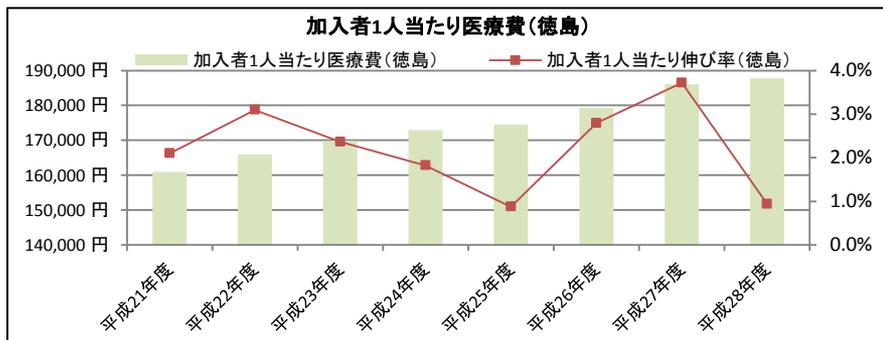
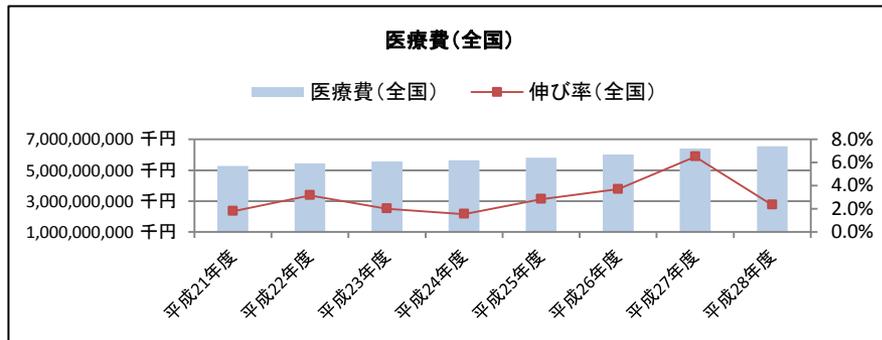
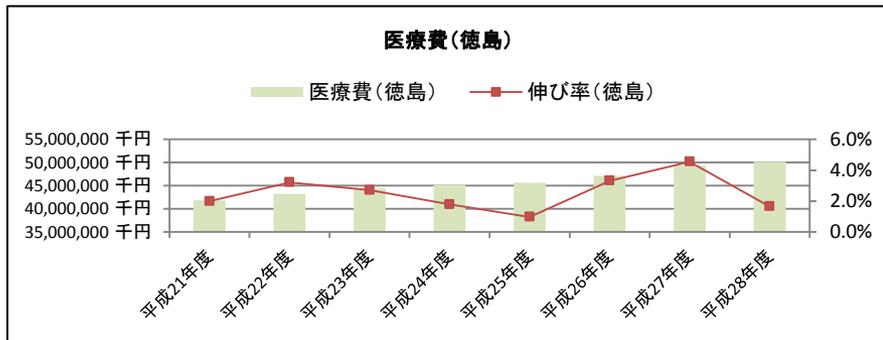
■ 事業所数 ■ 被保険者数

	事業所数	被保険者数
農林水産業	347	2573
鉱業、採石業、砂利採取業	29	351
総合工事業	1174	7666
職別工事業	453	2569
設備工事業	437	3087
食料品・たばこ製造業	370	5316
繊維製品製造業	178	2112
木製品・家具等製造業	305	3731
紙製品製造業	27	984
印刷・同関連業	86	997
化学工業・同類似業	80	2744
金属工業	103	1762
機械器具製造業	234	13335
その他の製造業	140	1785
電気・ガス・熱供給・水道業	129	865
情報通信業	189	1792
道路貨物運送業	275	5345
その他の運輸業	237	2451
卸売業	742	7741
飲食料品以外の小売業	1125	9484
飲食料品小売業	351	2130
無店舗小売業	34	249
金融・保険業	143	889
不動産業	657	1601
物品賃貸業	55	407
学術研究機関	13	89
専門・技術サービス業	545	3480
飲食店	441	2448
宿泊業	99	1010
対個人サービス業	297	2058
娯楽業	85	2218
教育・学習支援業	241	3145
医療業・保健衛生	693	19705
社会保険・社会福祉・介護事業	665	15253
複合サービス業	129	2638
職業紹介・労働者派遣業	41	6874
その他の対事業所サービス業	174	2862
修理業	361	2057
廃棄物処理業	118	1227
政治・経済・文化団体	284	1462
その他のサービス業	239	1526
公務	129	6109



4.医療費総額、加入者1人当たり医療費の推移

平成28年度徳島支部における医療費総額は501億となり、前年度と比べ1.7%増加しています。徳島支部の医療費総額はこの7年間で、約82億円(19.7%増)増加しています。平成28年度全支部における医療費総額は6兆5,647億円となり前年度と比べ2.3%増加しています。平成28年度徳島支部における加入者1人当たりの医療費は187,755円となり、前年度と比べ0.9%増加しています。また、徳島支部・全国ともに、平成27年度医療費の伸び率が高くなった要因の一つに、平成27年度に保険適用された高額の新薬の使用が増えたことが挙げられます。



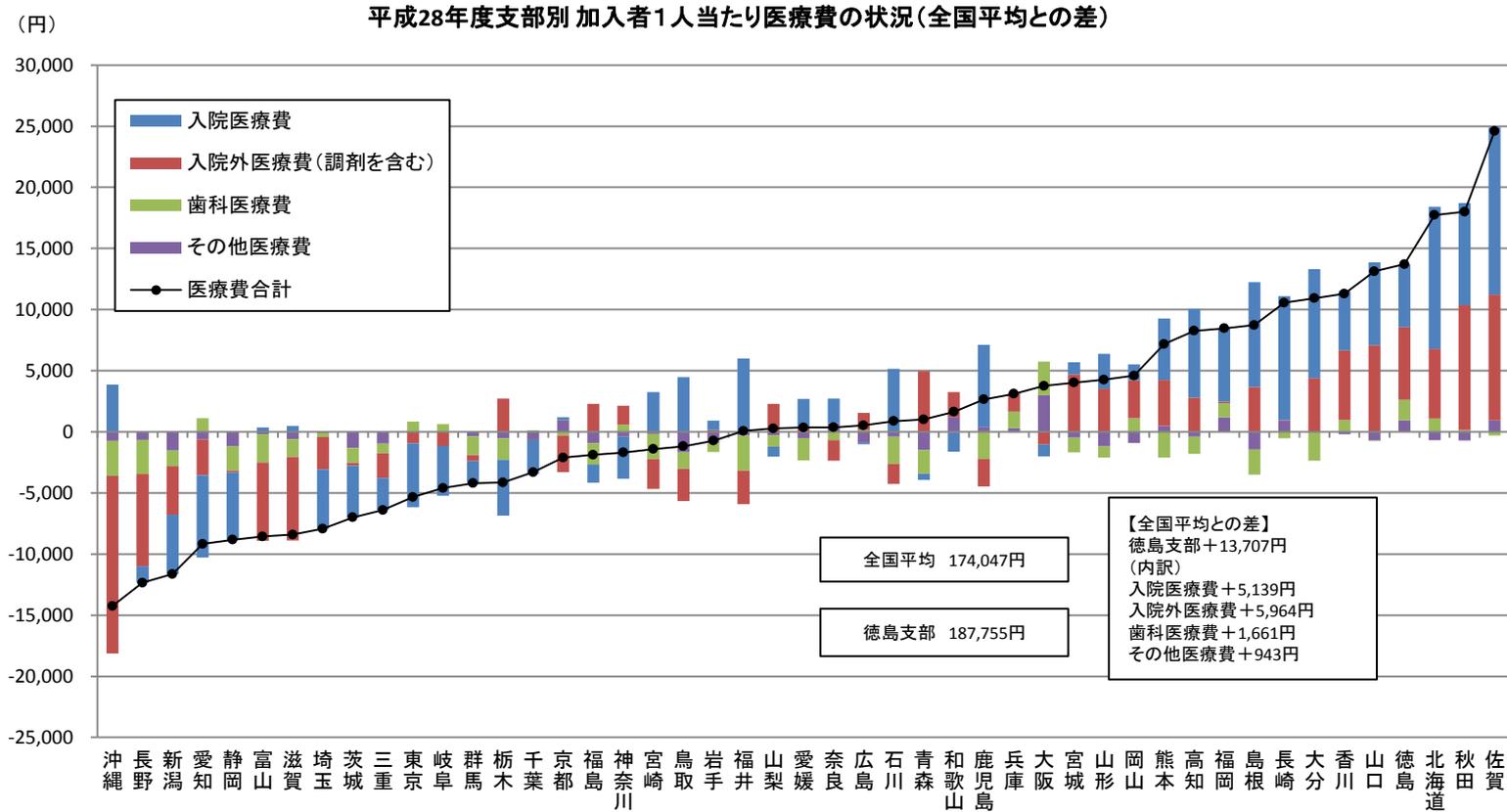
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
医療費(徳島)	41,891,589 千円	43,239,140 千円	44,414,063 千円	45,207,648 千円	45,649,938 千円	47,166,088 千円	49,312,891 千円	50,128,808 千円
伸び率(徳島)		3.2%	2.7%	1.8%	1.0%	3.3%	4.6%	1.7%
平均被保険者数(徳島)	148,560	149,368	150,513	151,030	151,839	153,543	156,129	158,968
平均被扶養者数(徳島)	111,714	111,208	110,966	110,356	109,814	109,455	108,977	108,023
平均加入者数(徳島)	260,274	260,576	261,479	261,386	261,653	262,998	265,106	266,991
加入者1人当たり医療費(徳島)	160,952 円	165,937 円	169,857 円	172,954 円	174,467 円	179,340 円	186,012 円	187,755 円
加入者1人当たり伸び率(徳島)		3.1%	2.4%	1.8%	0.9%	2.8%	3.7%	0.9%
医療費(全国)	5,283,820,729 千円	5,451,467,439 千円	5,561,450,239 千円	5,647,624,212 千円	5,807,800,850 千円	6,022,969,116 千円	6,414,628,409 千円	6,564,657,726 千円
伸び率(全国)		3.2%	2.0%	1.5%	2.8%	3.7%	6.5%	2.3%
平均被保険者数(全国)	19,625,500	19,682,487	19,703,306	19,880,872	20,248,955	20,762,145	21,423,602	22,193,760
平均被扶養者数(全国)	15,192,123	15,215,369	15,172,459	15,131,003	15,204,080	15,315,731	15,449,359	15,523,871
平均加入者数(全国)	34,817,622	34,897,856	34,875,765	35,011,876	35,453,035	36,077,876	36,872,962	37,717,631
加入者1人当たり医療費(全国)	151,757 円	156,212 円	159,465 円	161,306 円	163,817 円	166,944 円	173,966 円	174,047 円
加入者1人当たり伸び率(全国)		2.9%	2.1%	1.2%	1.6%	1.9%	4.2%	0.0%

※端数処理のため、平均加入者数と平均被保険者数、平均被扶養者数の合計が整合しない場合がある。

出所：協会けんぽ月報・事業年報

5. 加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)

平成28年度の徳島支部における加入者1人当たり医療費は、全国で4番目に高くなっています。全国平均と比較すると、入院で5,139円、入院外で5,964円、歯科で1,661円、その他(柔道整復療養費等)で943円高くなっており、すべてにおいて全国平均を上回っています。



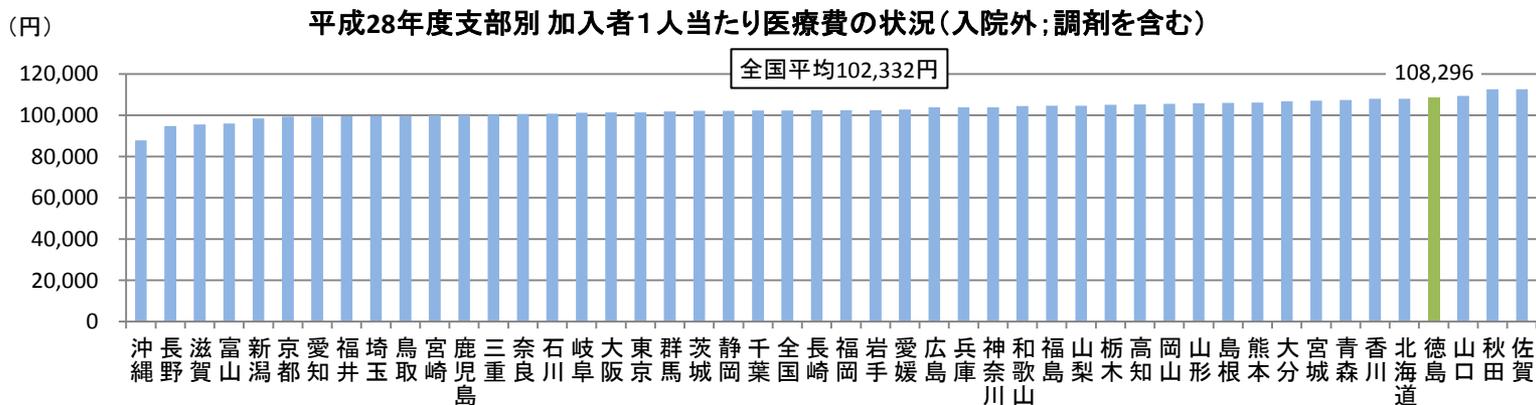
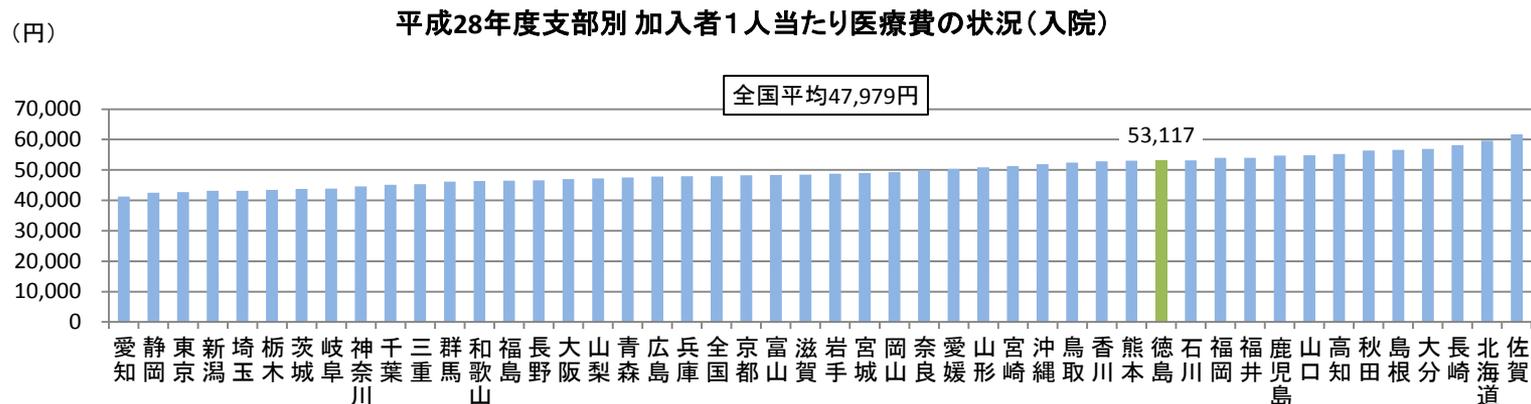
注1: 医療費は、社会保険診療報酬支払基金分(入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費)、療養費、移送費に係るものであり、図中の「その他医療費」は、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費、療養費、移送費の合計を示す。

注2: 都道府県別の医療費は、加入者の事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。

注3: 加入者1人当たり医療費は、年齢調整前の医療費(実額)であるため、都道府県間の年齢構成の違いが影響する。

6.加入者1人当たり医療費の状況(入院・入院外)

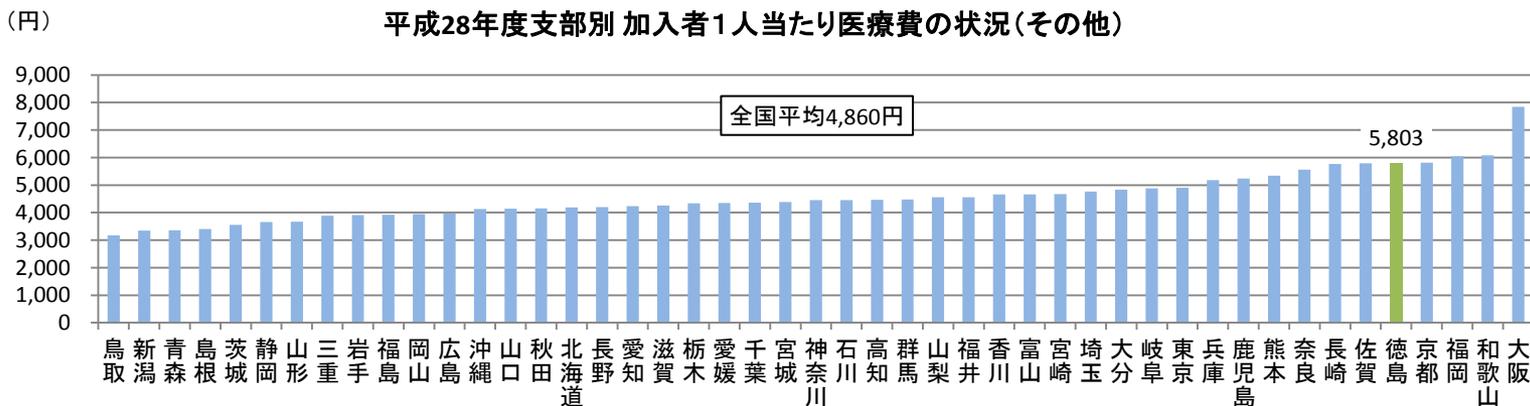
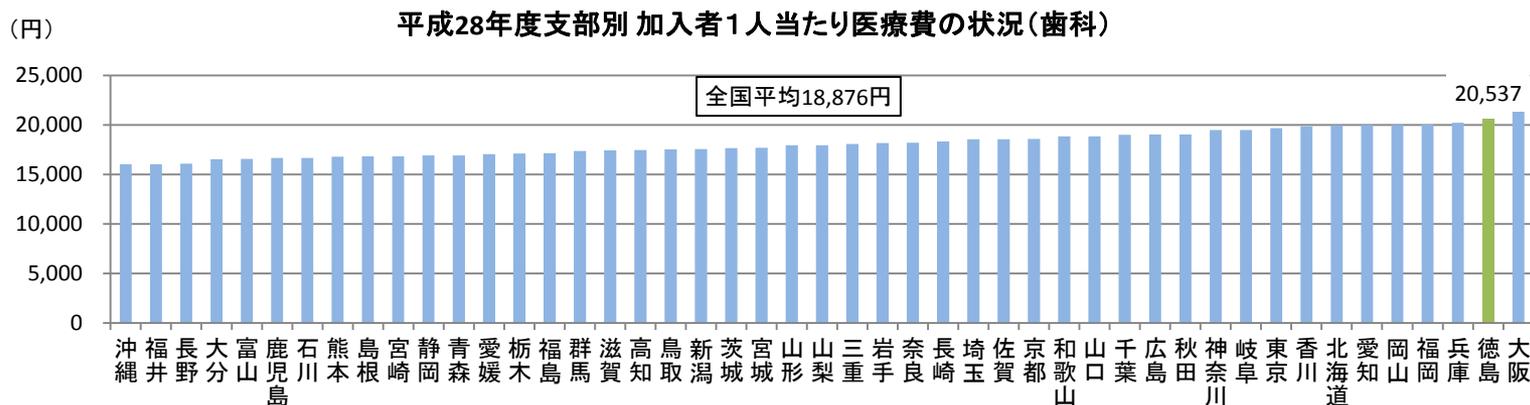
平成28年度加入者1人当たり医療費を診療別毎に見ると、入院医療費においては、徳島支部は全国平均より5,139円高い53,117円で、全国で13番目に高くなっています。入院外(調剤を含む)医療費においては、全国平均より5,964円高い108,296円で、全国で4番目に高くなっています。



注:加入者1人当たり医療費は、年齢調整前の額である。

7.加入者1人当たり医療費の状況(歯科・その他)

平成28年度加入者1人当たり歯科医療費においては、徳島支部は全国平均より1,661円高い20,537円で、全国で2番目に高くなっています。その他の医療費においては、全国平均より943円高い5,803円で、全国で5番目に高くなっています。



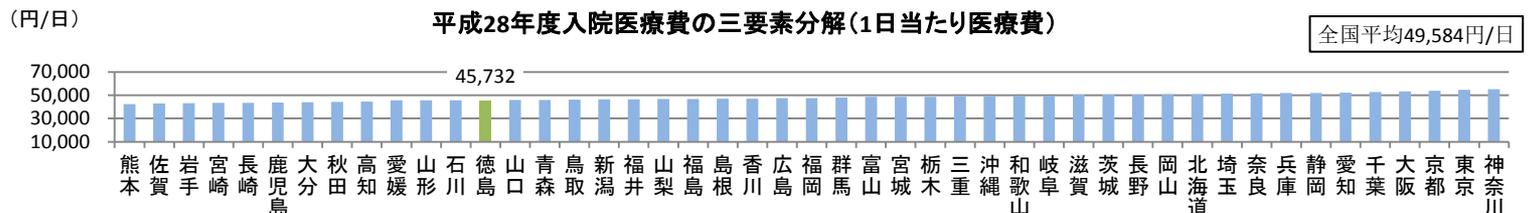
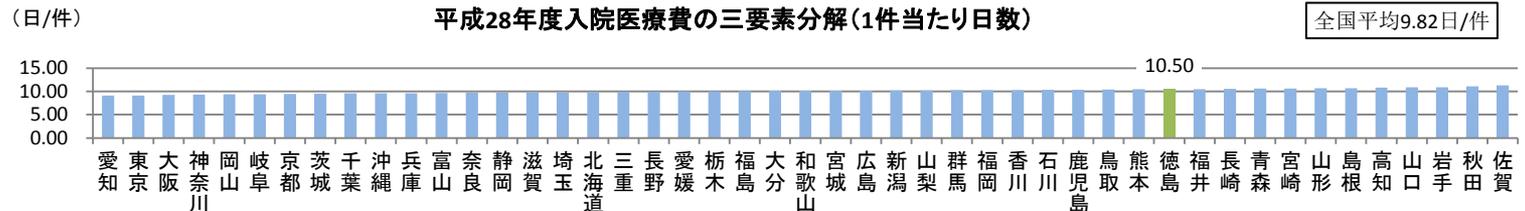
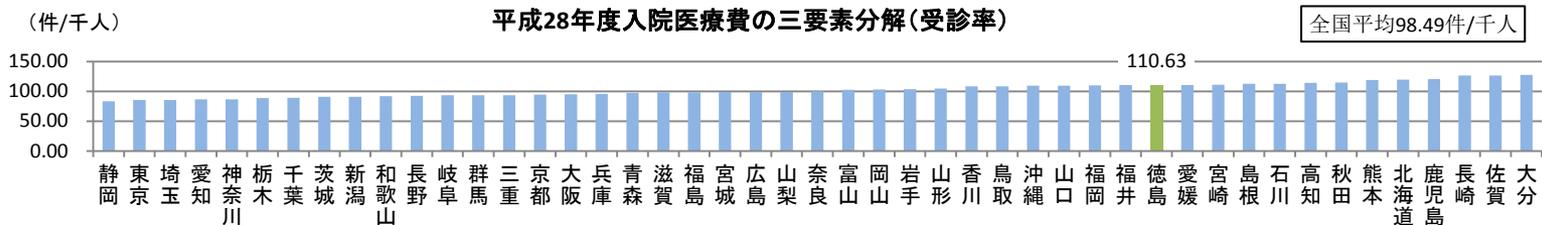
注1: 加入者1人当たり医療費は、年齢調整前の額である。

注2: その他医療費は、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費、療養費(柔道整復療養費等)、移送費に係るもの。

出所: 協会けんぽ月報

8.医療費の三要素分解(入院)

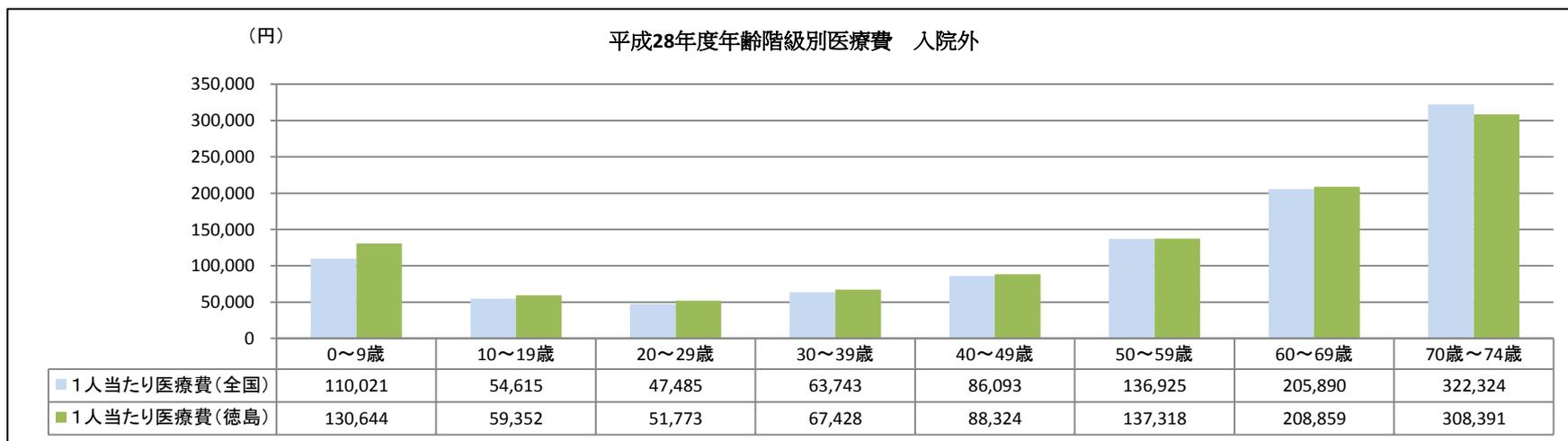
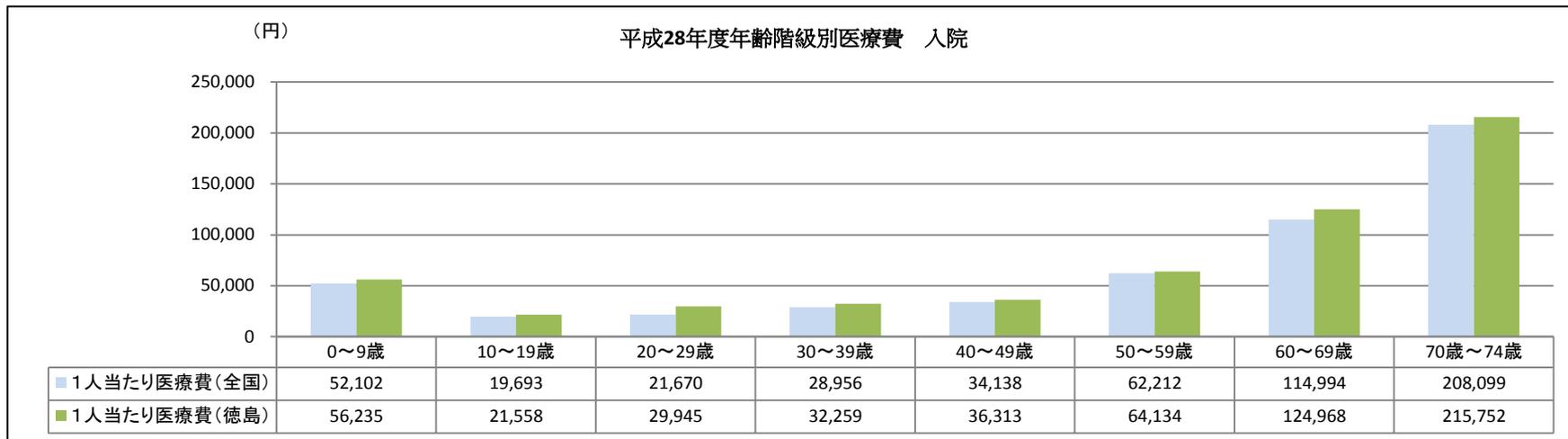
入院医療費における徳島支部の特徴としては、受診率はやや高く(13番目)、入院日数はやや長い(12番目)、1日当たり医療費は低い(35番目)という傾向が見られます。



※医療費の三要素分解により、医療費を1人当たりのレセプト件数の割合(受診率)と、受診にかかる日数(レセプト1件当たりの日数)と、受診1日にかかる医療費の3つの要素に分解(3つの要素の積が1人当たり医療費)し、1人当たり医療費の要素を取り出して支部毎の特徴を見ることができます。受診率は、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表す指標です。したがってある地域で受診率が全国平均よりも高いということは、医療機関にかかる者の割合が高いということです。入院の1件当たり日数が多ければ、概ね入院期間が長く、入院外の1件当たり日数が多ければ、通院頻度が高いものと考えられます。1日当たり医療費が高いということは、1回の診療あるいは1日の入院でかかる費用が高いということです。受診率は、主に医療を受ける側の受診意識や感染症の流行などの疾病構造等に依存しやすく、1件当たり日数は、患者の受診意識や疾病の種類並びに医療機関における診療行為など医療を受ける側による要因並びに診療供給側による要因の両方の影響を受けやすいと考えられます。また、1日当たり医療費は、医療供給側の診療行為などの要因に依存しやすいと考えられます。

10.年齢階級別1人当たり医療費の状況(入院・入院外)

年齢階級別1人当たり医療費を見ると、50歳代以降に医療費が大きく伸びていくことがわかります。徳島支部は、70～74歳の入院外医療費を除き、入院・入院外ともに各年代において、全国平均を上回っています。特に20～29歳入院医療費は全国比1.38倍、0～9歳入院外医療は全国比1.19倍となっています。

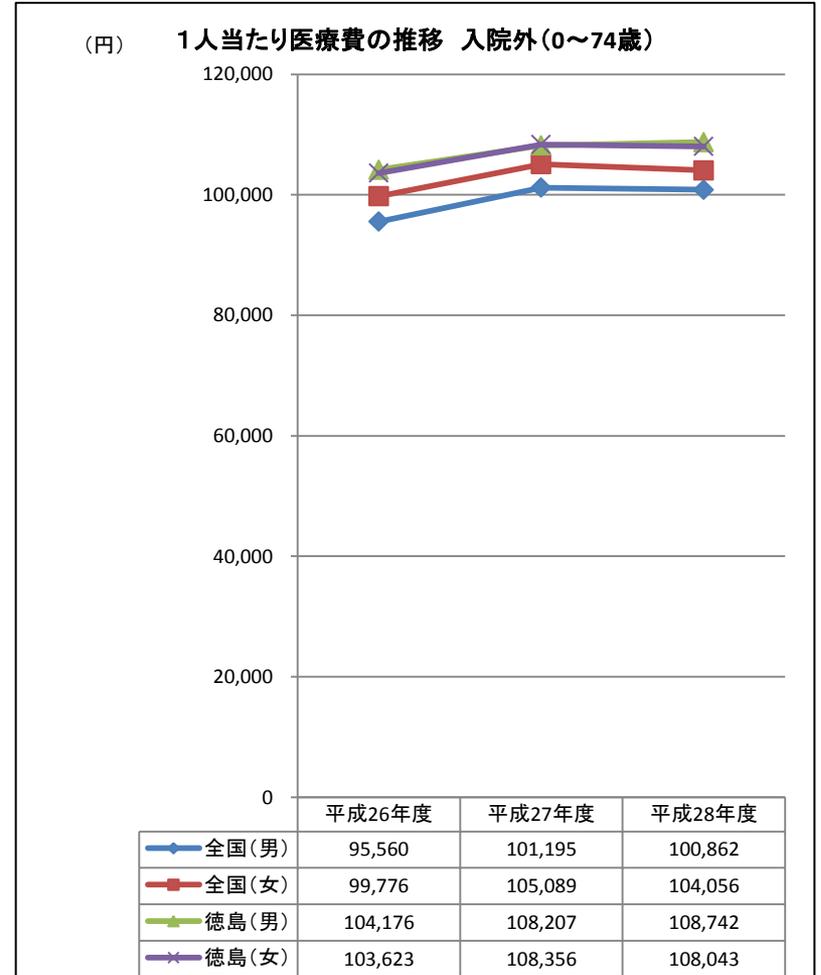
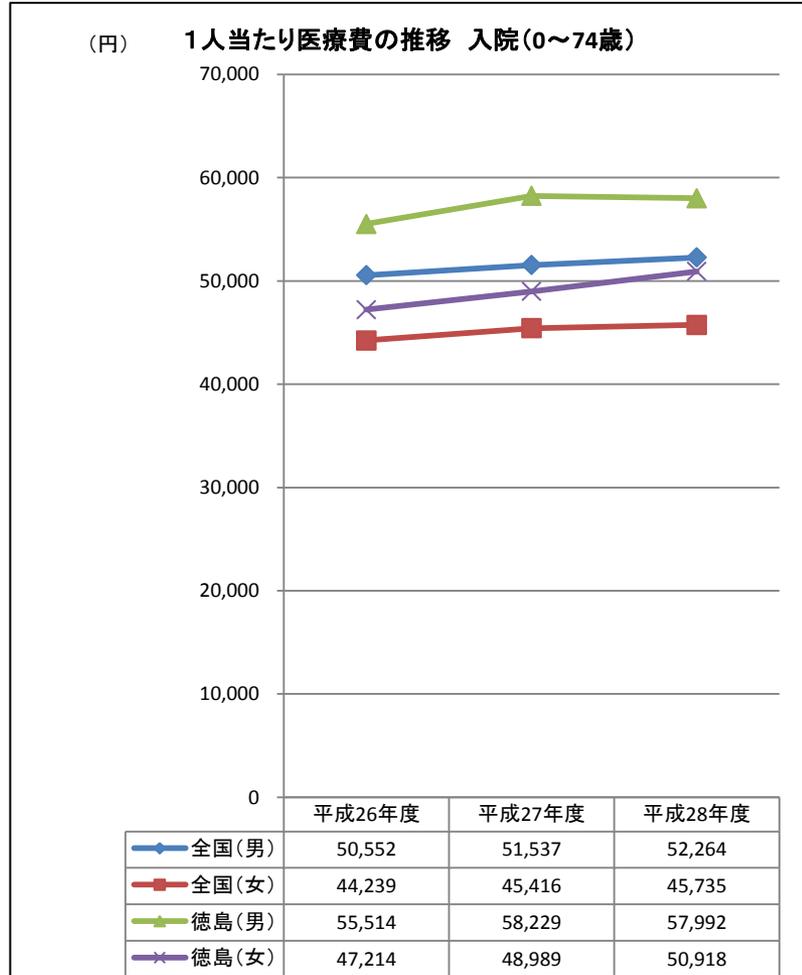


注：医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所：協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-1.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)0～74歳

平成28年度徳島(0～74歳)男の入院医療費は全国(0～74歳)男比の1.11倍、入院外医療費は1.08倍となっています。また、平成28年度徳島(0～74歳)女の入院医療費は全国(0～9歳)女比の1.11倍、入院外医療費は1.04倍となっており、徳島(0～74歳)男女とも、全国平均を上回る水準で推移しています。

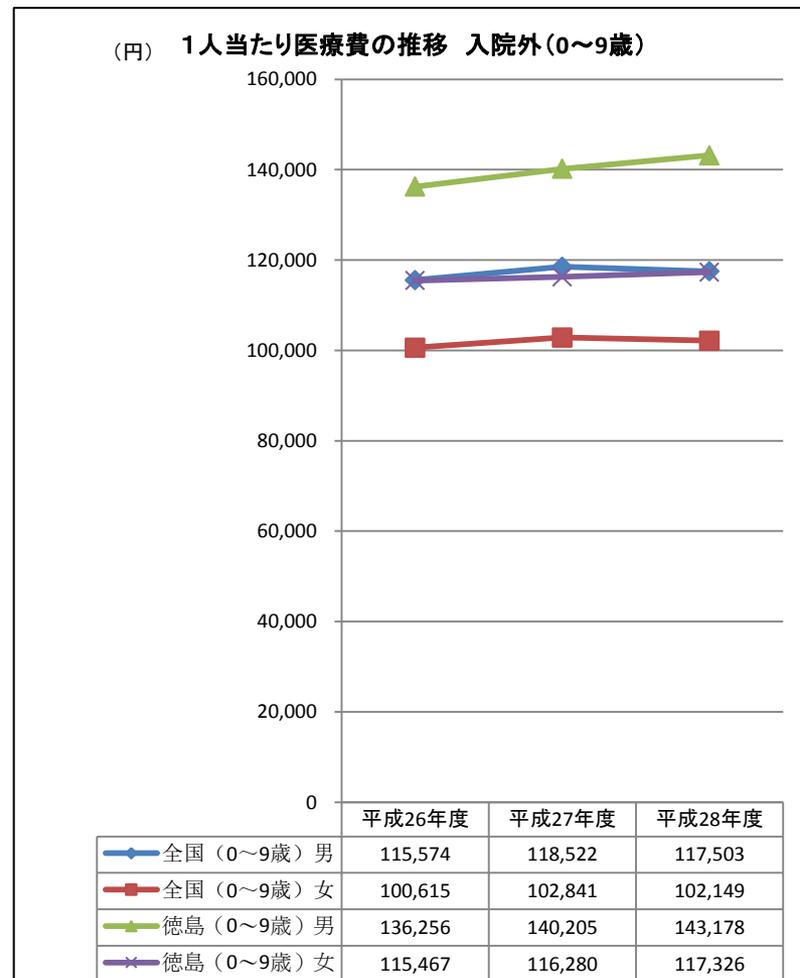
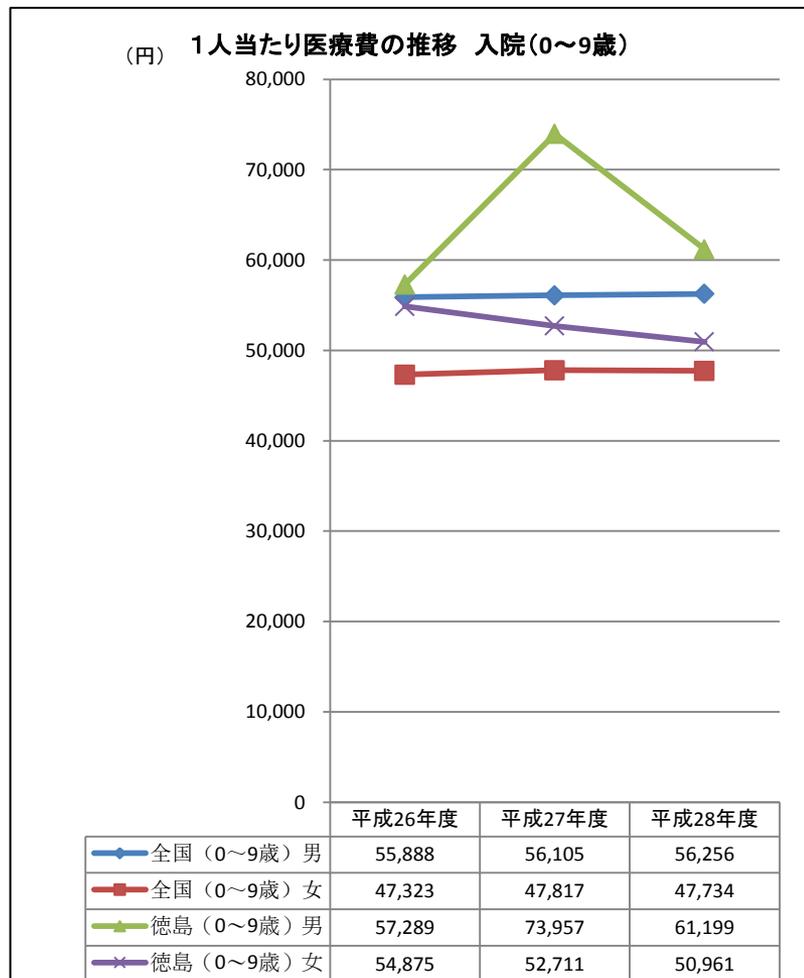


注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-2.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)0～9歳

平成28年度徳島(0～9歳)男の入院医療費は全国(0～9歳)男比の1.09倍、入院外医療費は1.22倍となっています。また、平成28年度徳島(0～9歳)女の入院医療費は全国(0～9歳)女比の1.07倍、入院外医療費は1.15倍となっており、徳島(0～9歳)男女とも、全国平均を上回る水準で推移しています。なお、徳島(0～9歳)男の平成27年度1人当たり入院医療費が例年より高い水準となっていますが、平成28年度の感染症等疾病分類別医療費と比較してもあまり差はなかったため、その要因は偶然変動の範囲と考えられます。

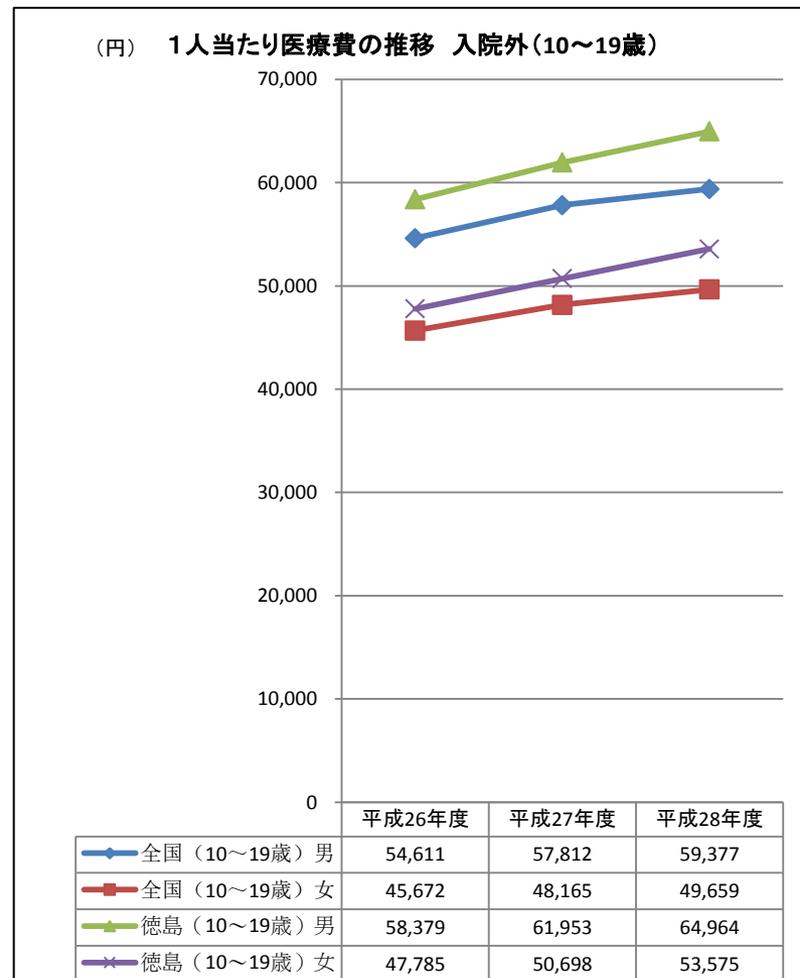
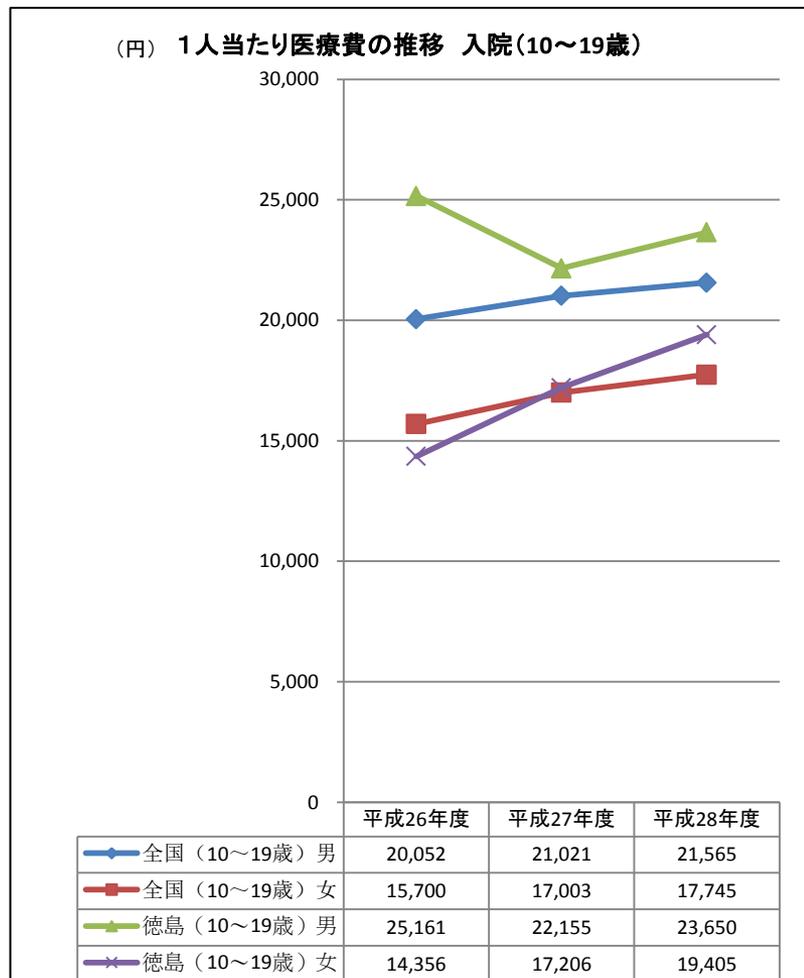


注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-3.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)10～19歳

平成28年度徳島(10～19歳)男の入院医療費は全国(10～19歳)男比の1.10倍、入院外医療費は1.09倍となっています。また、平成28年度徳島(10～19歳)女の入院医療費は全国(10～19歳)女比の1.09倍、入院外医療費は1.08倍となっており、徳島(10～19歳)男は、全国平均を上回る水準で推移しています。徳島(10～19歳)女は、平成27年度、平成28年度に全国平均を上回る水準で推移しています。

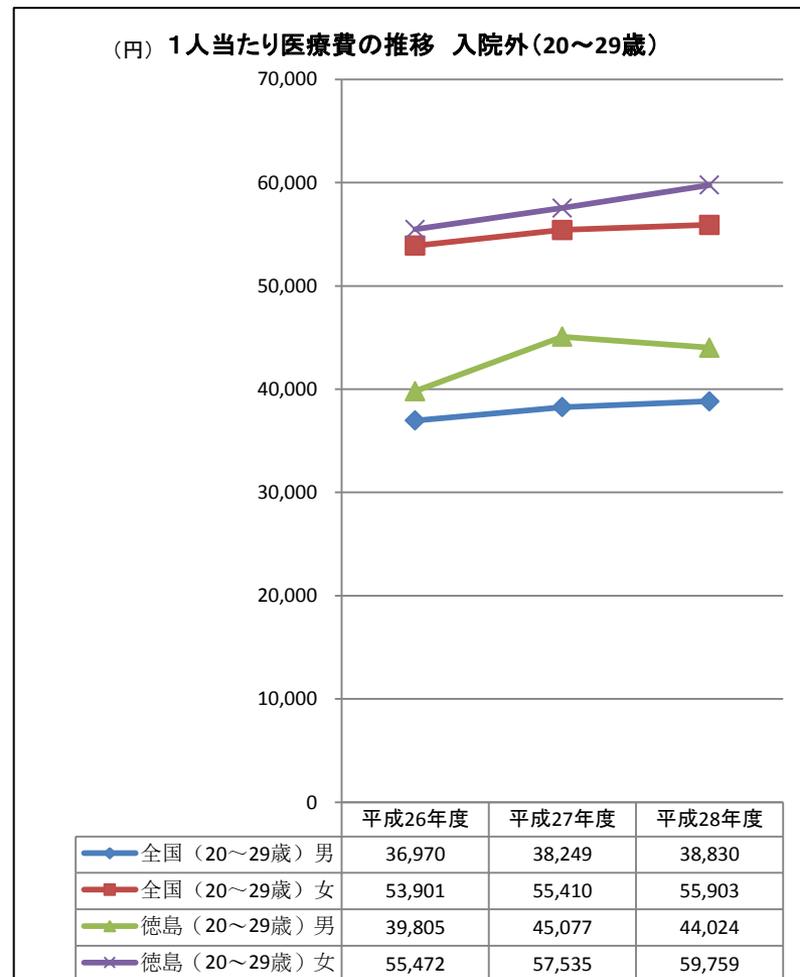
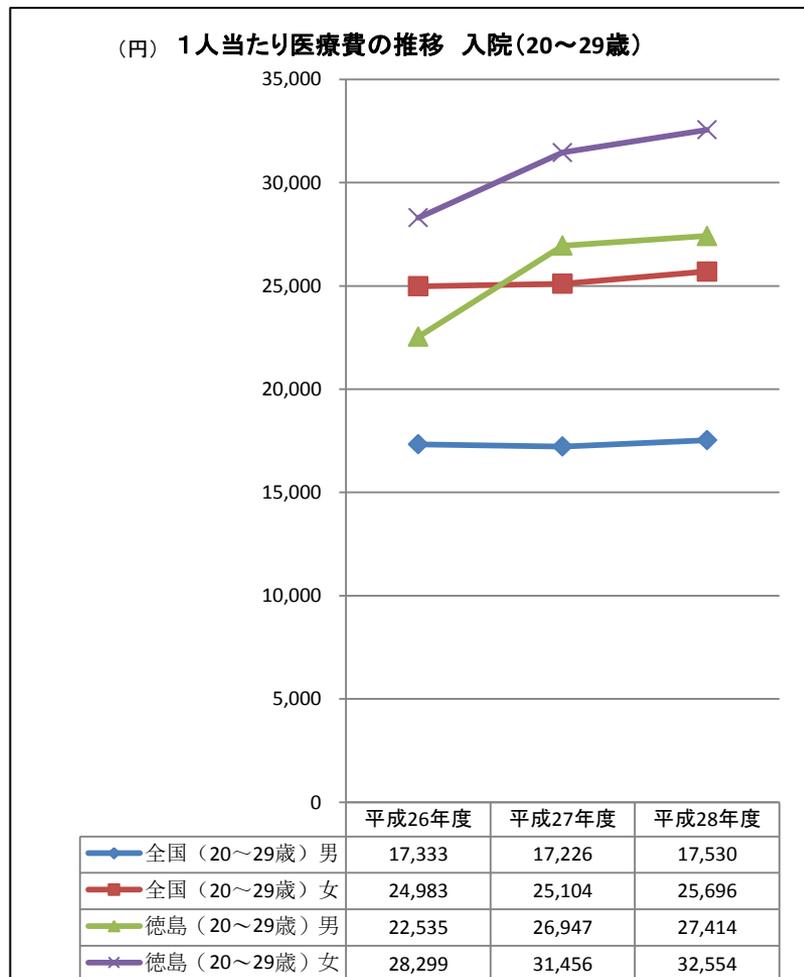


注:医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所:協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-4.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)20～29歳

平成28年度徳島(20～29歳)男の入院医療費は全国(20～29歳)男比の1.56倍、入院外医療費は1.13倍となっています。また、平成28年度徳島(20～29歳)女の入院医療費は全国(20～29歳)女比の1.27倍、入院外医療費は1.07倍となっており、徳島(20～29歳)男女とも、全国平均を上回る水準で推移しています。なお、この年代では、男性よりも女性のほうが医療費が高い傾向となっています。

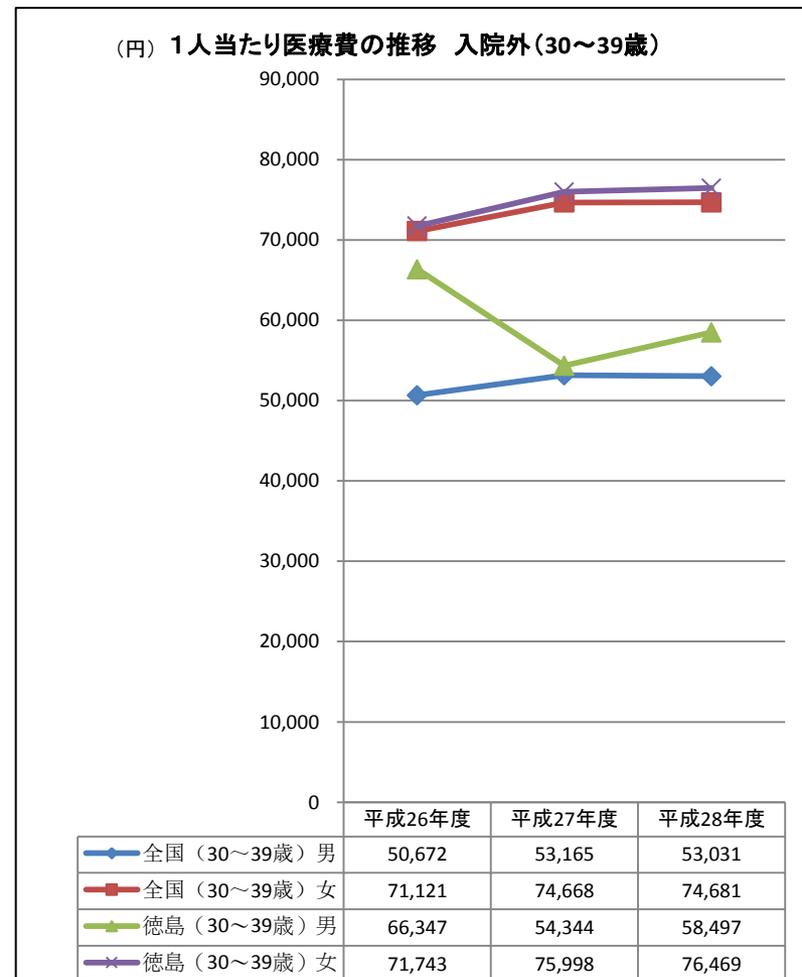
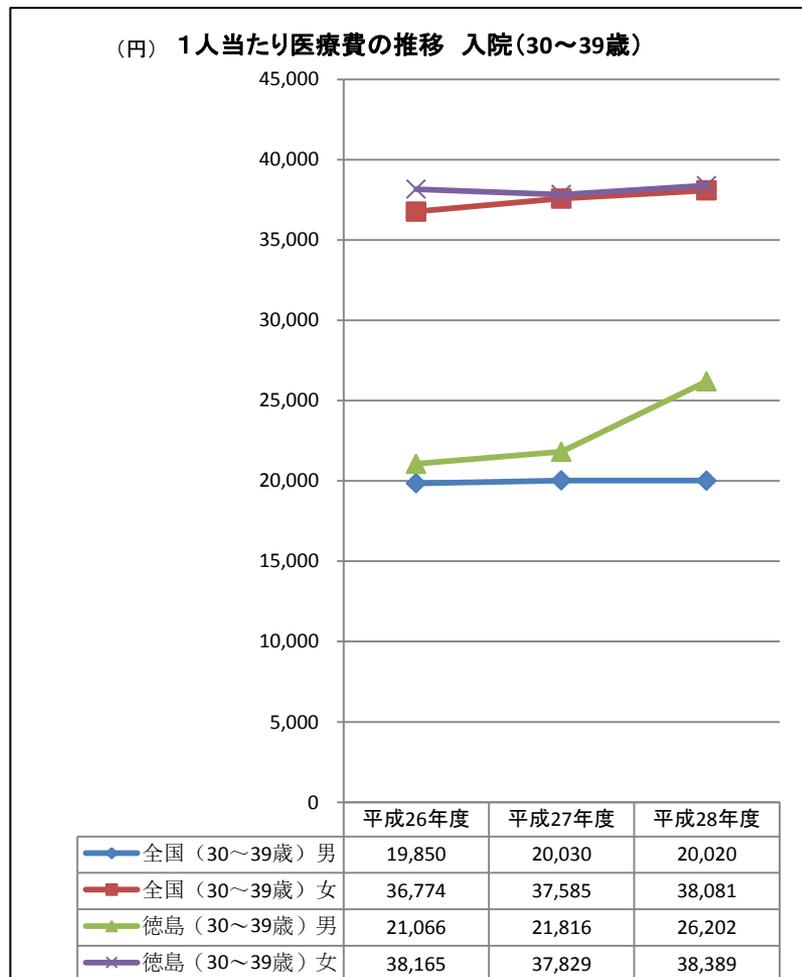


注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-5.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)30～39歳

平成28年度徳島(30～39歳)男の入院医療費は全国(30～39歳)男比の1.31倍、入院外医療費は1.10倍となっています。また、平成28年度徳島(30～39歳)女の入院医療費は全国(30～39歳)女比の1.01倍、入院外医療費は1.02倍となっており、徳島(30～39歳)男女とも、全国平均を上回る水準で推移しています。なお、この年代では、男性よりも女性のほうが医療費が高い傾向となっています。

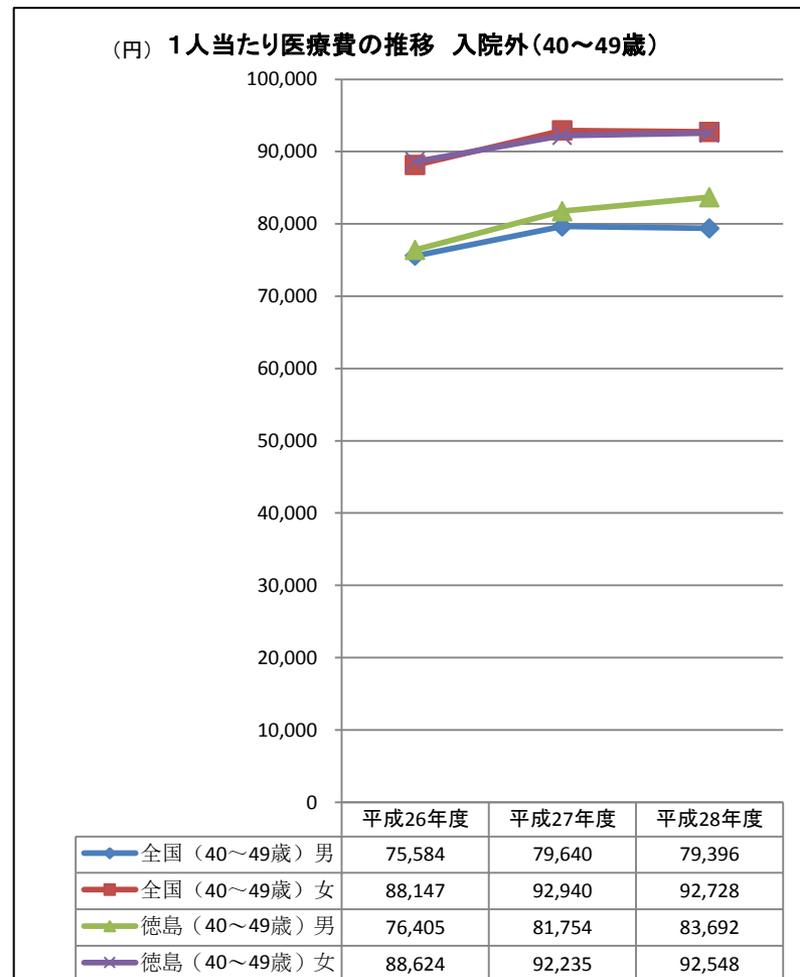
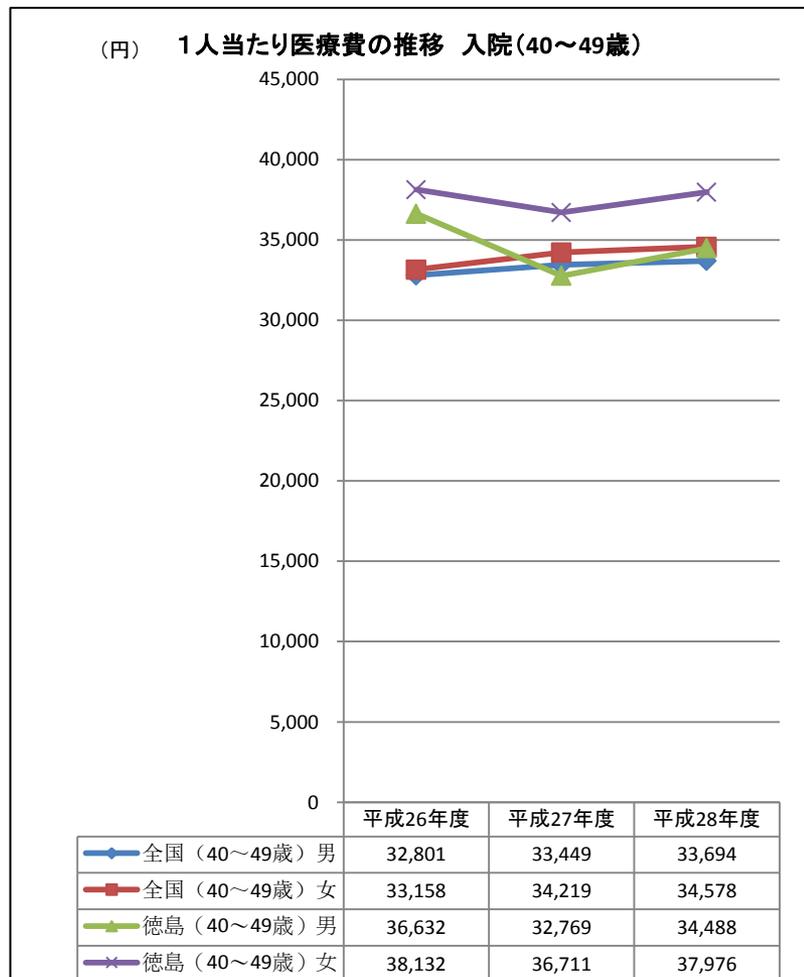


注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-6.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)40～49歳

平成28年度徳島(40～49歳)男の入院医療費は全国(40～49歳)男比の1.02倍、入院外医療費は1.05倍となっています。また、平成28年度徳島(40～49歳)女の入院医療費は全国(40～49歳)女比の1.10倍、入院外医療費は1.00倍となっています。概ね、全国平均と同程度の水準で推移していますが、徳島(50～59歳)女の入院医療費は全国平均を上回る水準で推移しています。なお、この年代では、男性よりも女性のほうが医療費が高い傾向となっています。

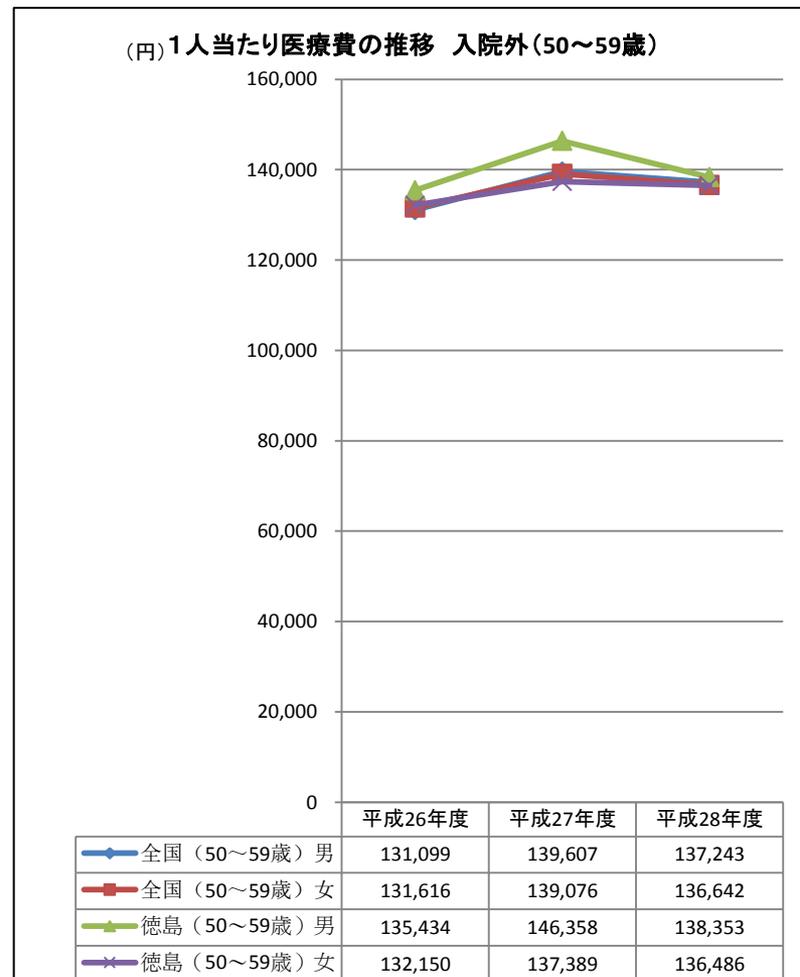
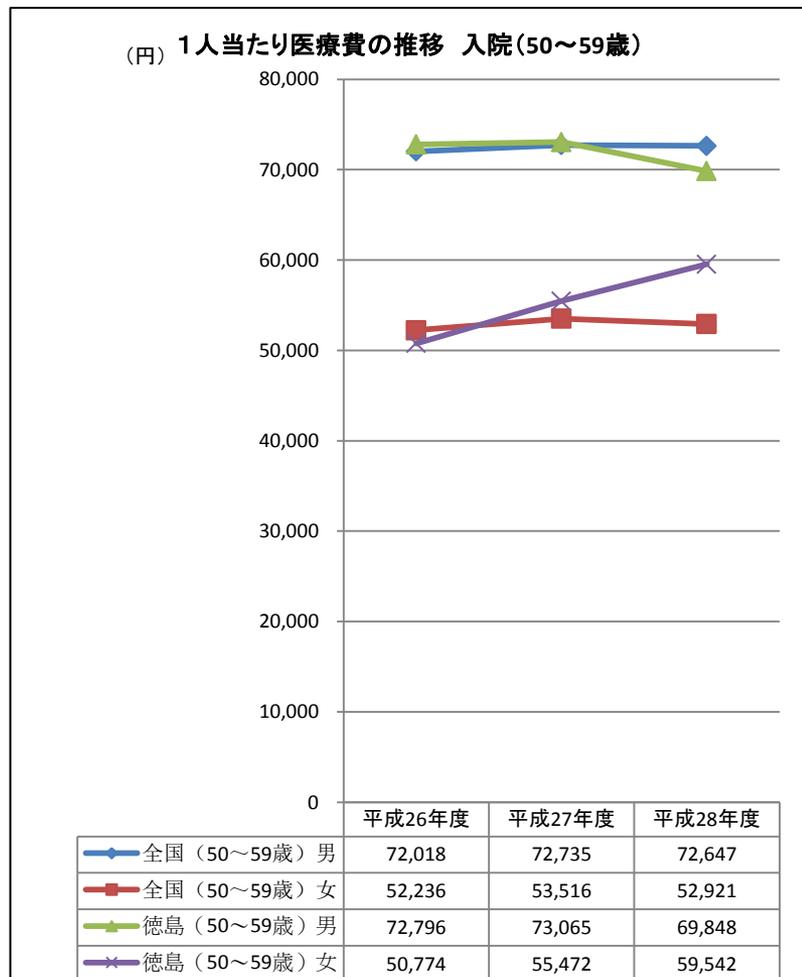


注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-7.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)50～59歳

平成28年度徳島(50～59歳)男の入院医療費は全国(50～59歳)男比の0.96倍、入院外医療費は1.01倍となっています。また、平成28年度徳島(50～59歳)女の入院医療費は全国(50～59歳)女比の1.13倍、入院外医療費は1.00倍となっています。概ね、全国平均と同程度の水準で推移していますが、徳島(50～59歳)女の入院医療費は平成27年度より全国平均を上回る水準で推移しています。

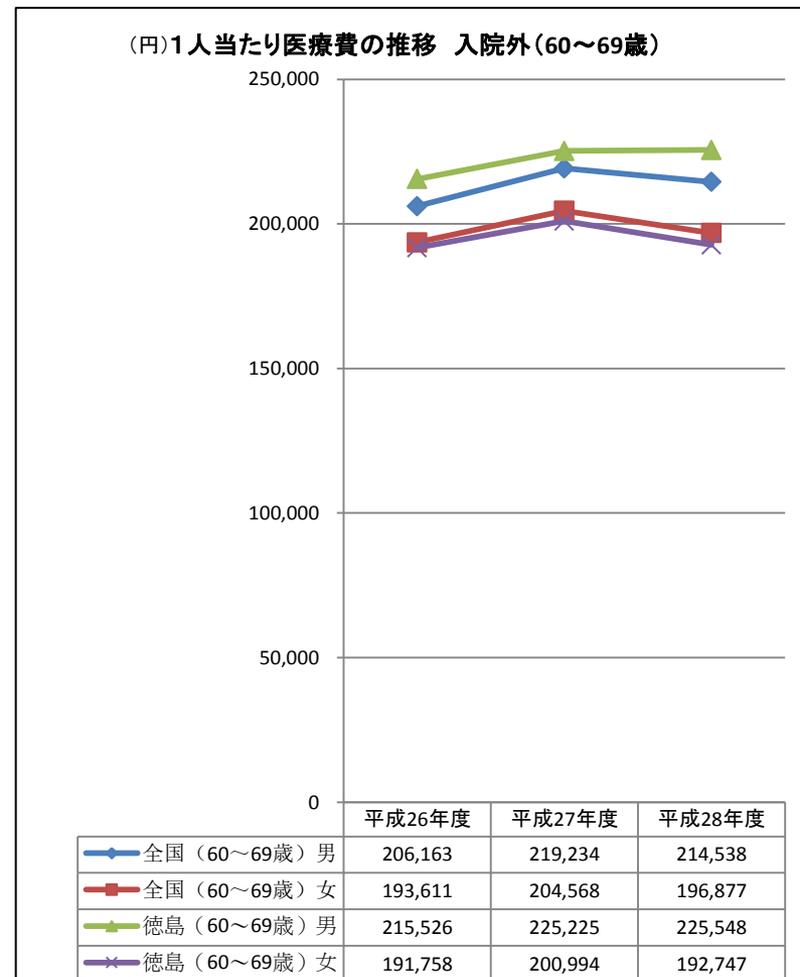
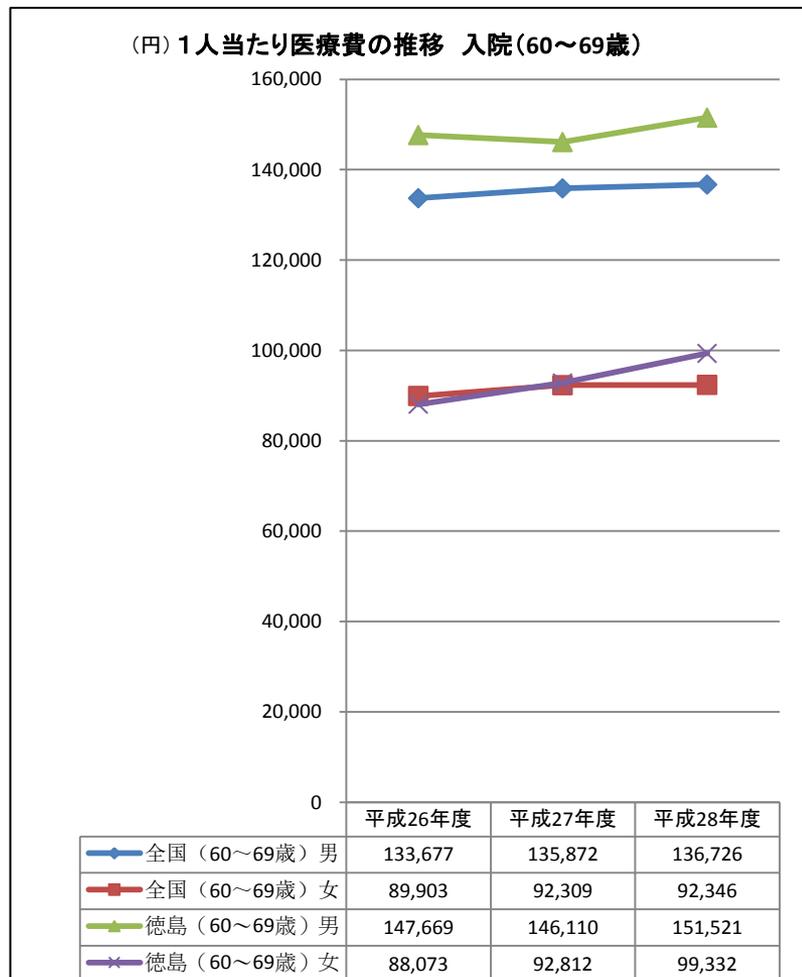


注:医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所:協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-8.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)60～69歳

平成28年度徳島(60～69歳)男の入院医療費は全国(60～69歳)男比の1.11倍、入院外医療費は1.05倍となっています。また、平成28年度徳島(60～69歳)女の入院医療費は全国(60～69歳)女比の1.08倍、入院外医療費は0.98倍となっています。徳島(60～69歳)男は、全国平均を上回る水準で推移しています。徳島(60～69歳)女の入院医療費は平成27年度からに全国平均を上回る水準で推移していますが、徳島(60～69歳)女の入院外医療費は概ね、全国平均と同程度の水準で推移しています。

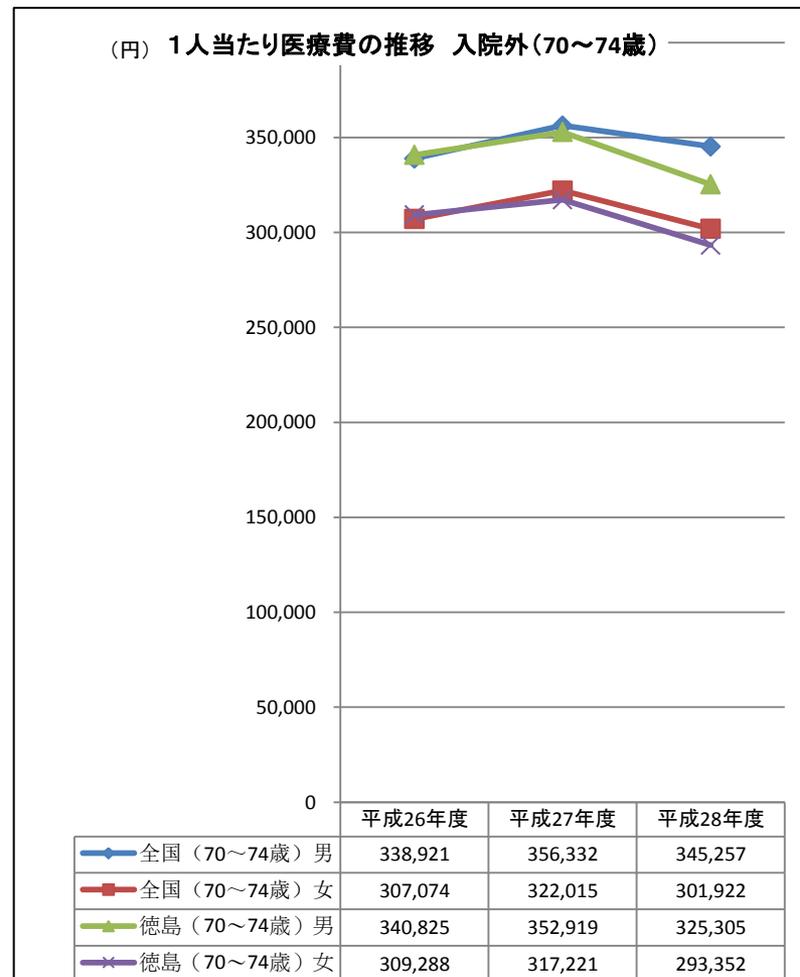
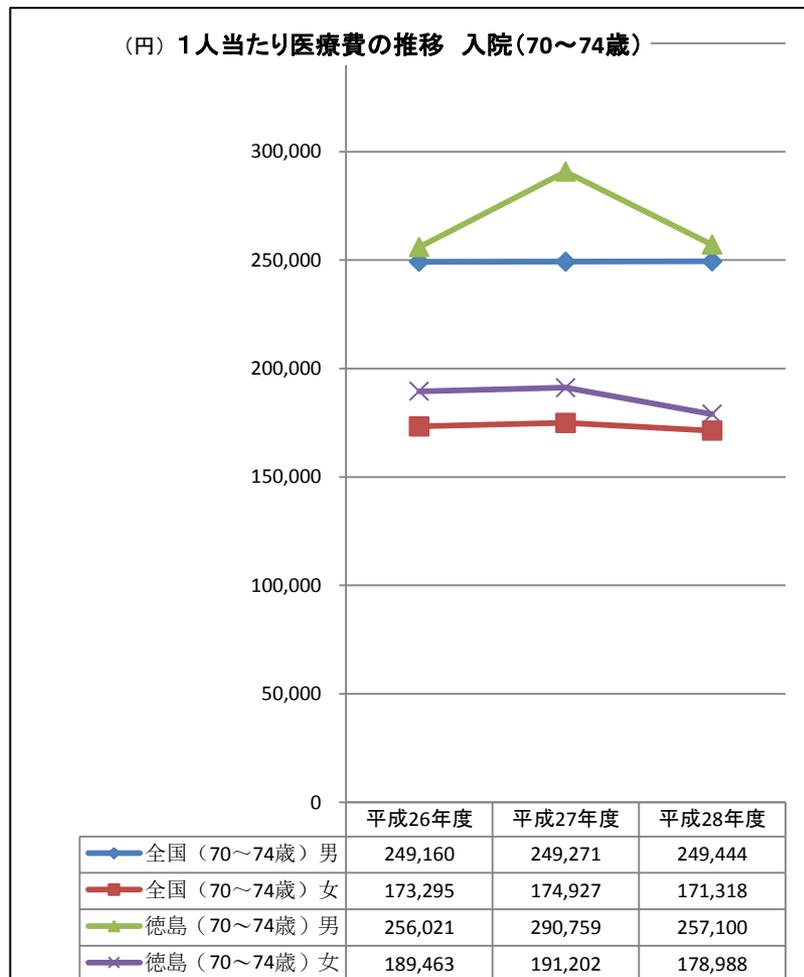


注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

11-9.年齢階級別男女別1人当たり医療費の推移(入院・入院外)70～74歳

平成28年度徳島(70～74歳)男の入院医療費は全国(70～74歳)男比の1.03倍、入院外医療費は0.94倍となっています。また、平成28年度徳島(70～74歳)女の入院医療費は全国(70～74歳)女比の1.04倍、入院外医療費は0.97倍となっています。徳島(70～74歳)男の入院医療費は平成27年度を除き概ね、全国平均と同程度の水準で推移しています。徳島(70～74歳)男の入院外医療費は平成27年度から全国平均を下回る水準で推移しています。徳島(70～74歳)女の入院医療費は全国平均を上回る水準で推移しています。徳島(70～74歳)女の入院外医療費は平成27年度から全国平均を下回る水準で推移しています。



注: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

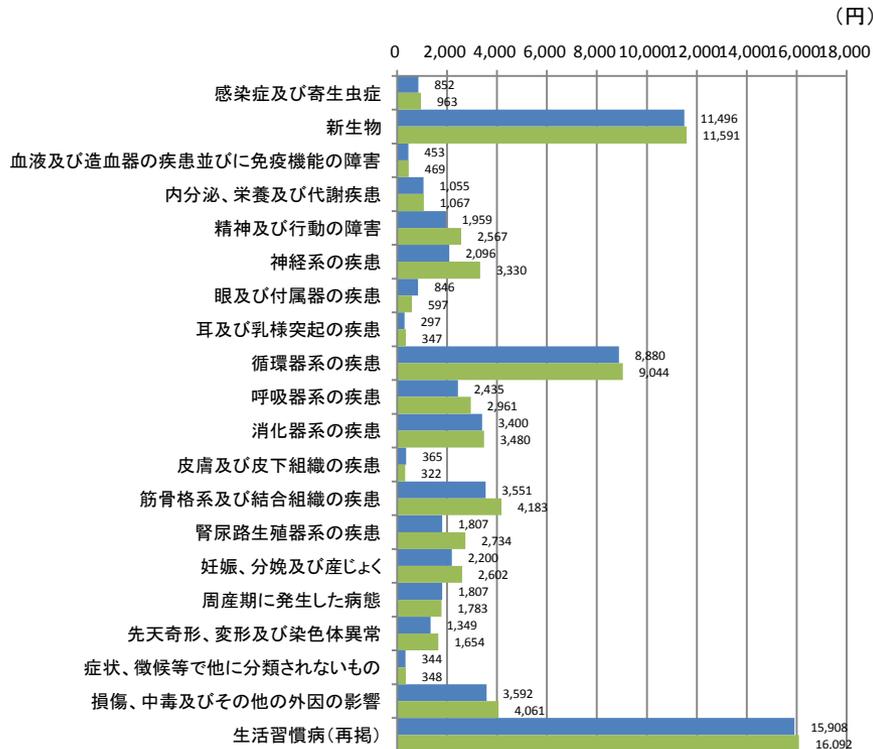
出所: 協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

12-1. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)0~74歳

0~74歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「新生物」(全国比1.01倍)、「循環器系の疾患」(全国比1.02倍)が多くを占めていることがわかります。0~74歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「呼吸器系の疾患」(全国比1.07倍)、「循環器系の疾患」(全国比1.10倍)、「内分泌、栄養及び代謝疾患」(全国比1.09倍)が多くを占めていることがわかります。また、「生活習慣病」にかかる1人当たり入院医療費は16,092円(全国比1.01倍)、「生活習慣病」にかかる1人当たり入院外医療費は31,825円(全国比1.11倍)となっています。

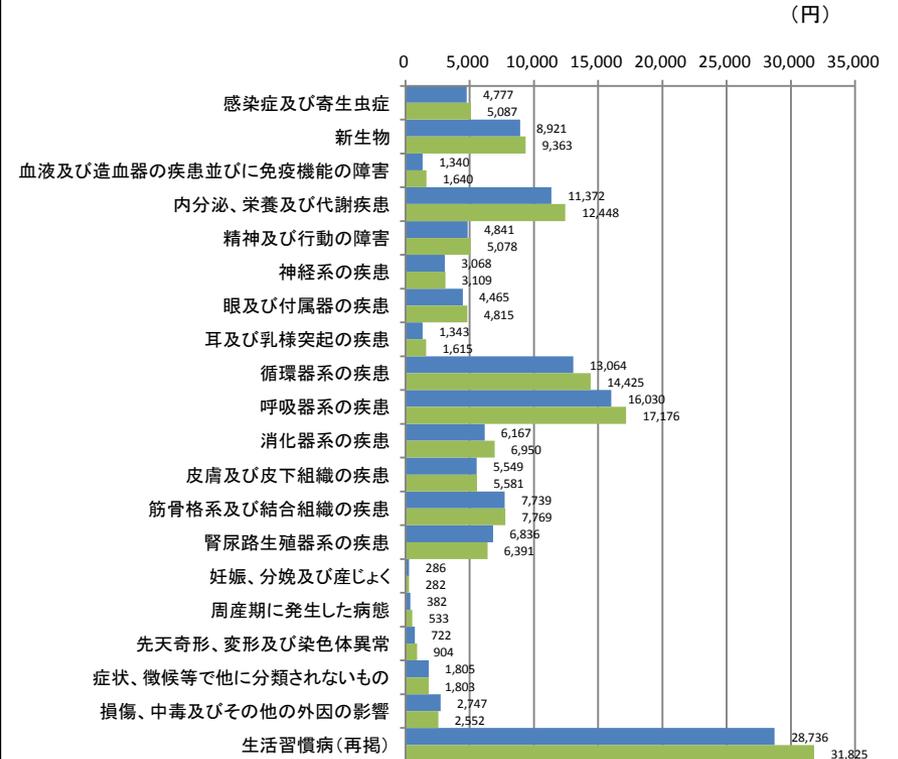
平成28年度疾病別医療費 入院(0~74歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



平成28年度疾病別医療費 入院外(0~74歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

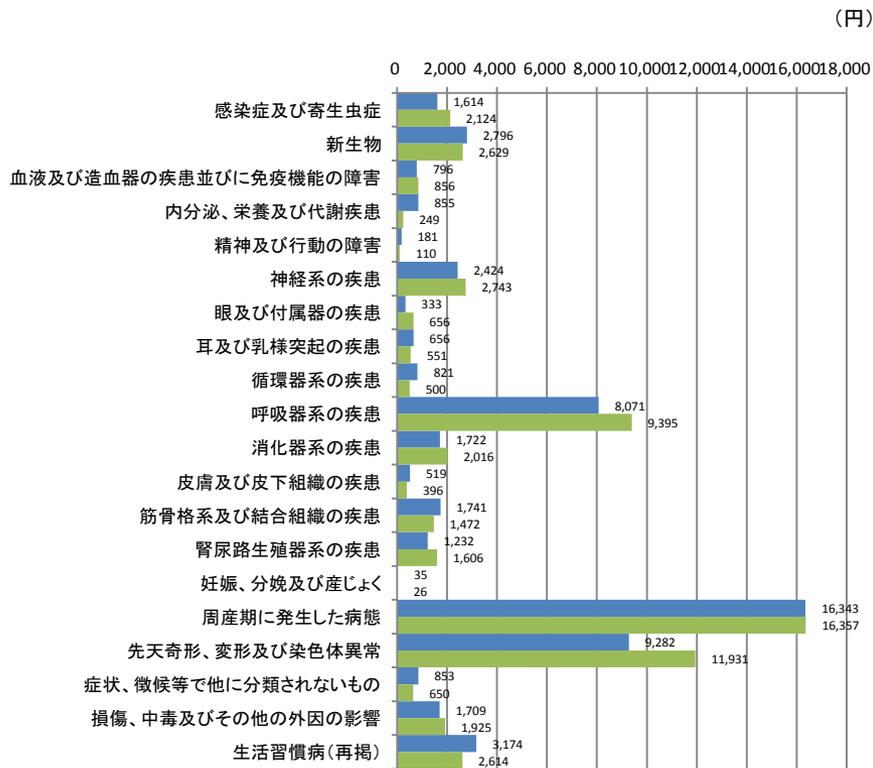
注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

12-2. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)0～9歳

0～9歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「周産期に発生した病態」(全国比1.00倍)、「先天奇形、変形及び染色体異常」(全国比1.29倍)「呼吸器系の疾患」(全国比1.16倍)が多くを占めていることがわかります。0～9歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「呼吸器系の疾患」(全国比1.15倍)が多くを占めていることがわかります。

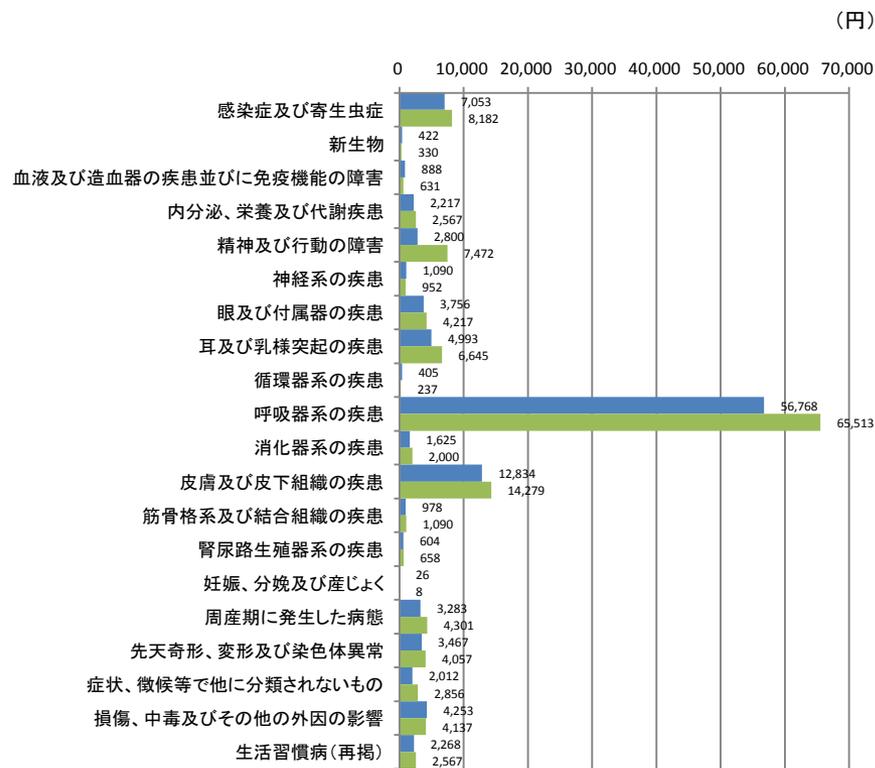
平成28年度疾病別医療費 入院(0～9歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



平成28年度疾病別医療費 入院外(0～9歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

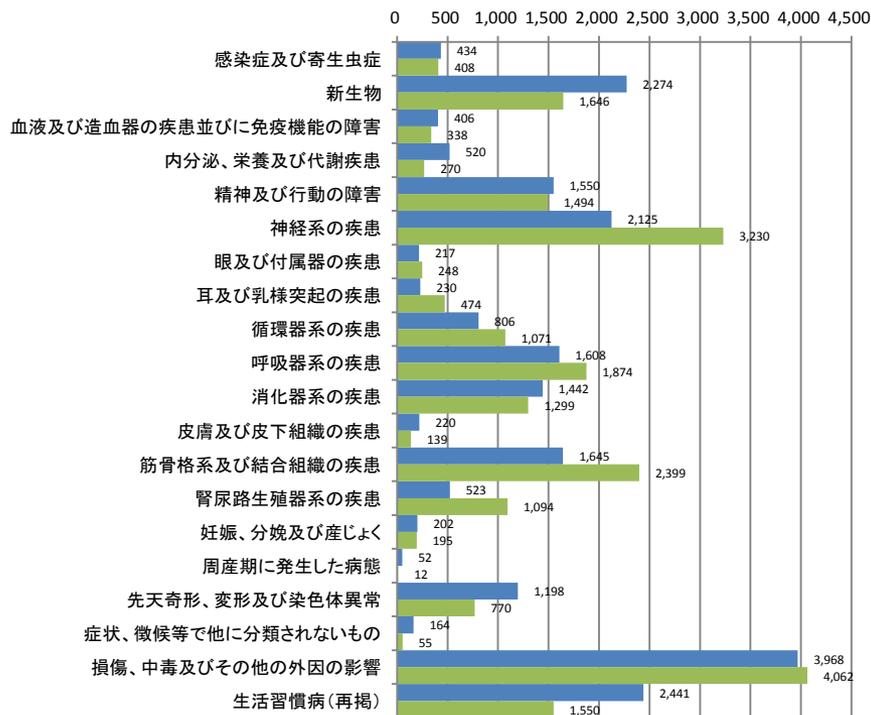
注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

12-3. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)10～19歳

10～19歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「損傷、中毒及びその他の外因の影響」(全国比1.02倍)、「神経系の疾患」(全国比1.52倍)が多くを占めていることがわかります。10～19歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「呼吸器系の疾患」(全国比1.08倍)が多くを占めていることがわかります。

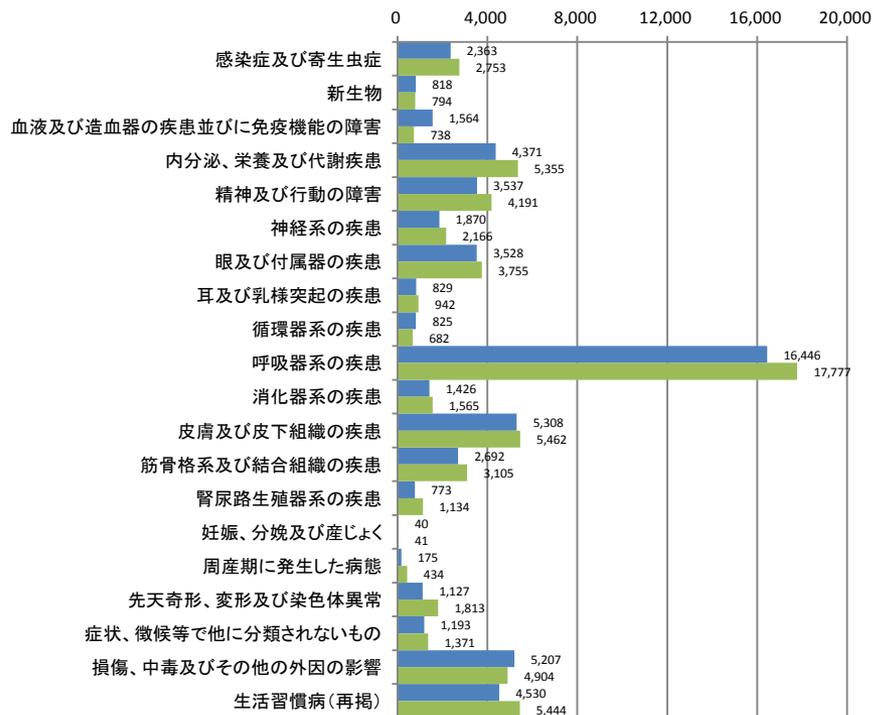
平成28年度疾病別医療費 入院(10～19歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島) (円)



平成28年度疾病別医療費 入院外(10～19歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島) (円)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

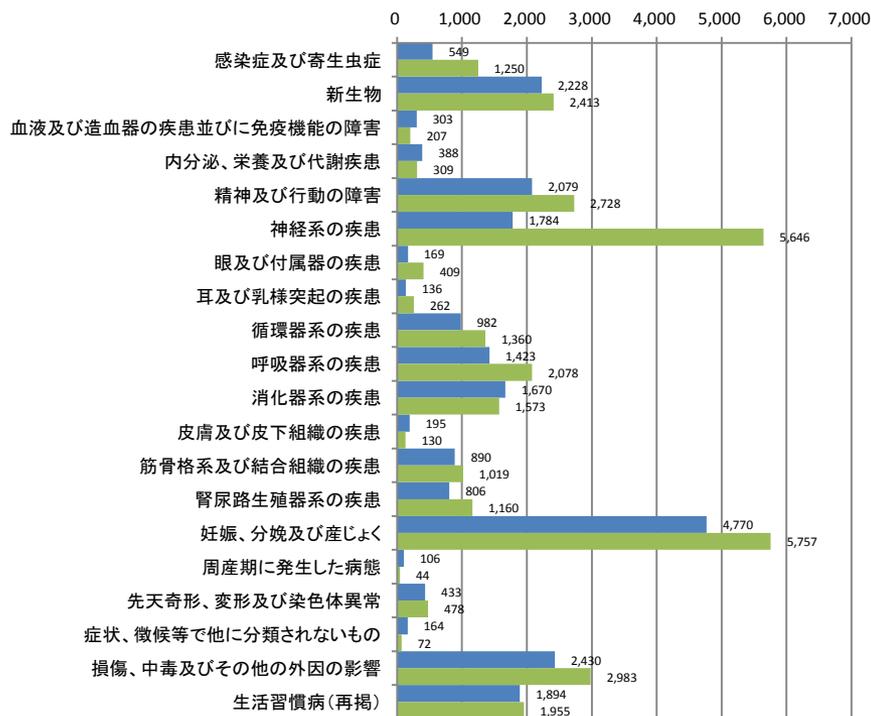
12-4. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外) 20～29歳

20～29歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「妊娠、分娩及び産じょく」(全国比1.21倍)、「神経系の疾患」(全国比3.17倍)が多くを占めていることがわかります。20～29歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「呼吸器系の疾患」(全国比1.07倍)が多くを占めていることがわかります。

平成28年度疾病別医療費 入院(20～29歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)

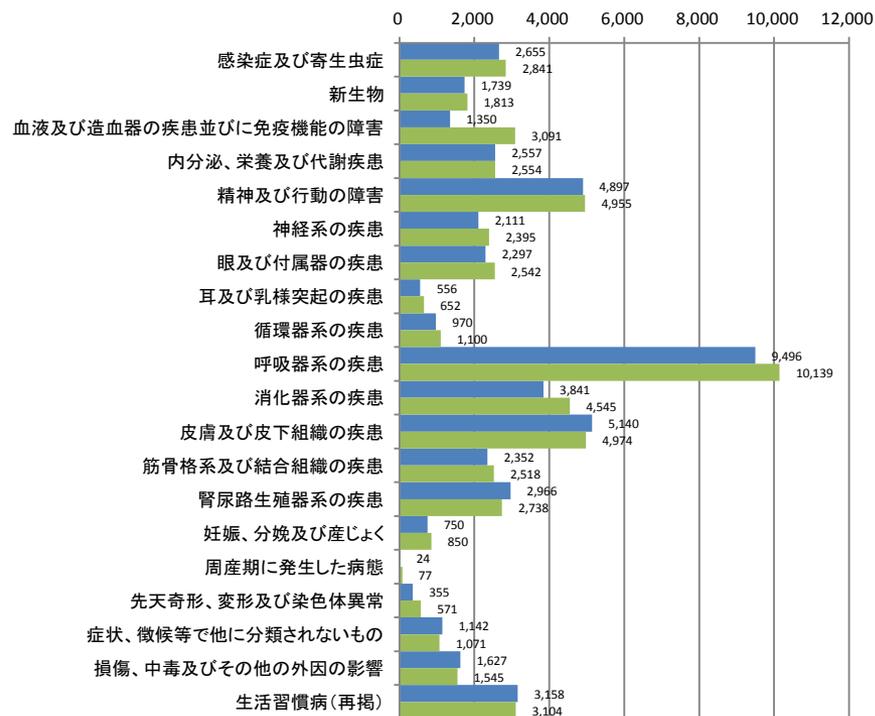
(円)



平成28年度疾病別医療費 入院外(20～29歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)

(円)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

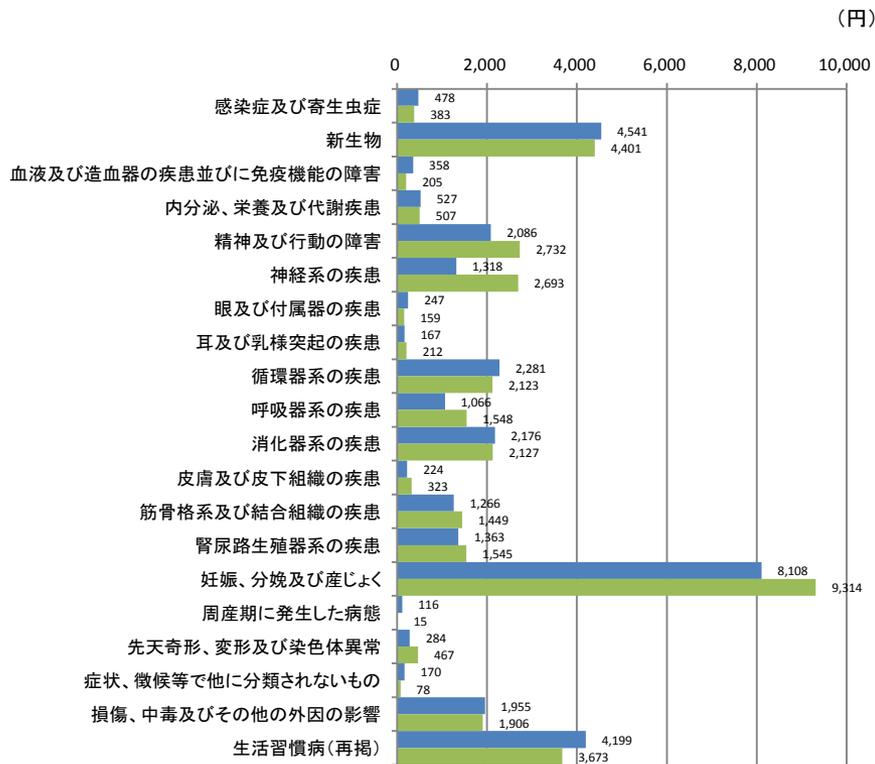
注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

12-5. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外) 30～39歳

30～39歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「妊娠、分娩及び産じょく」(全国比1.15倍)、「新生物」(全国比0.97倍)が多くを占めていることがわかります。30～39歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「呼吸器系の疾患」(全国比1.02倍)が多くを占めていることがわかります。

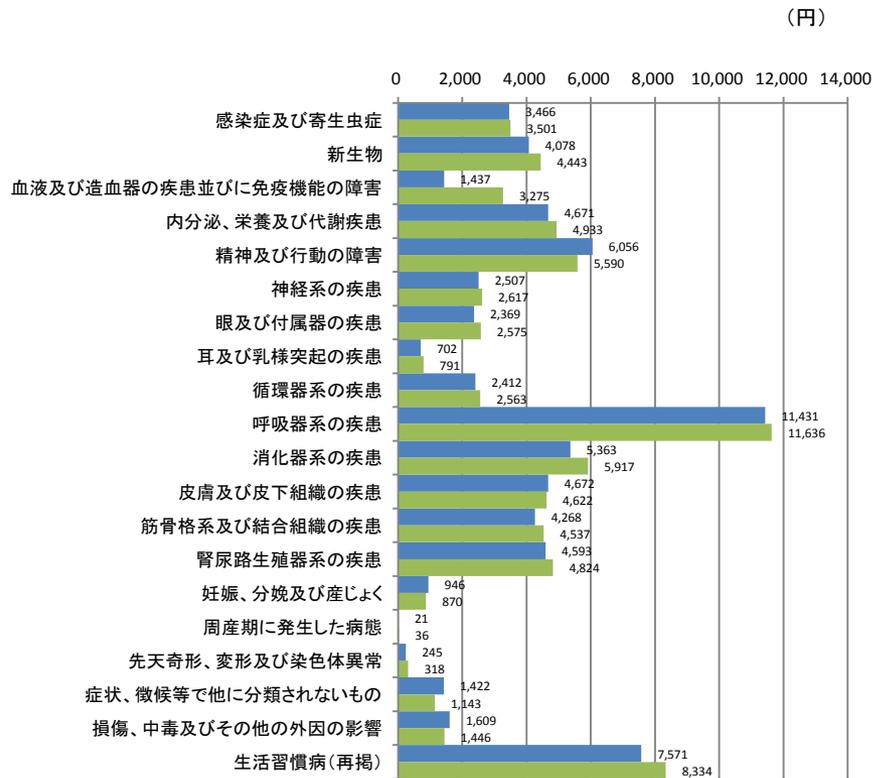
平成28年度疾病別医療費 入院(30～39歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



平成28年度疾病別医療費 入院外(30～39歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

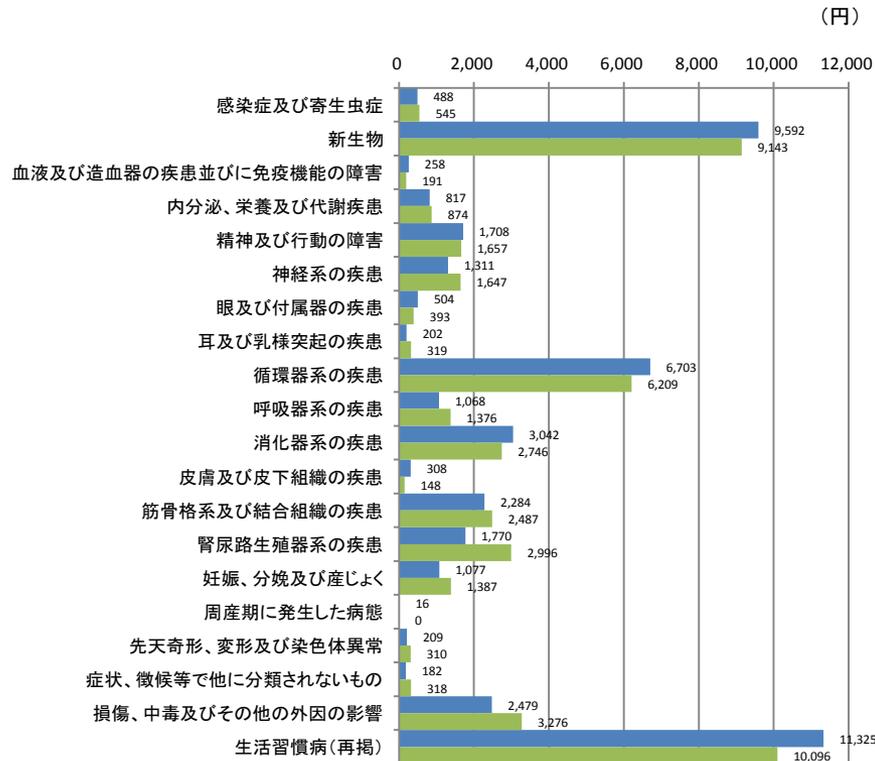
注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

12-6.疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)40～49歳

40～49歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「新生物」(全国比0.95倍)、「循環器系の疾患」(全国比0.93倍)が多くを占めていることがわかります。40～49歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「呼吸器系の疾患」(全国比1.01倍)、「新生物」(全国比1.07倍)、「内分泌、栄養及び代謝疾患」(全国比1.03倍)が多くを占めていることがわかります。

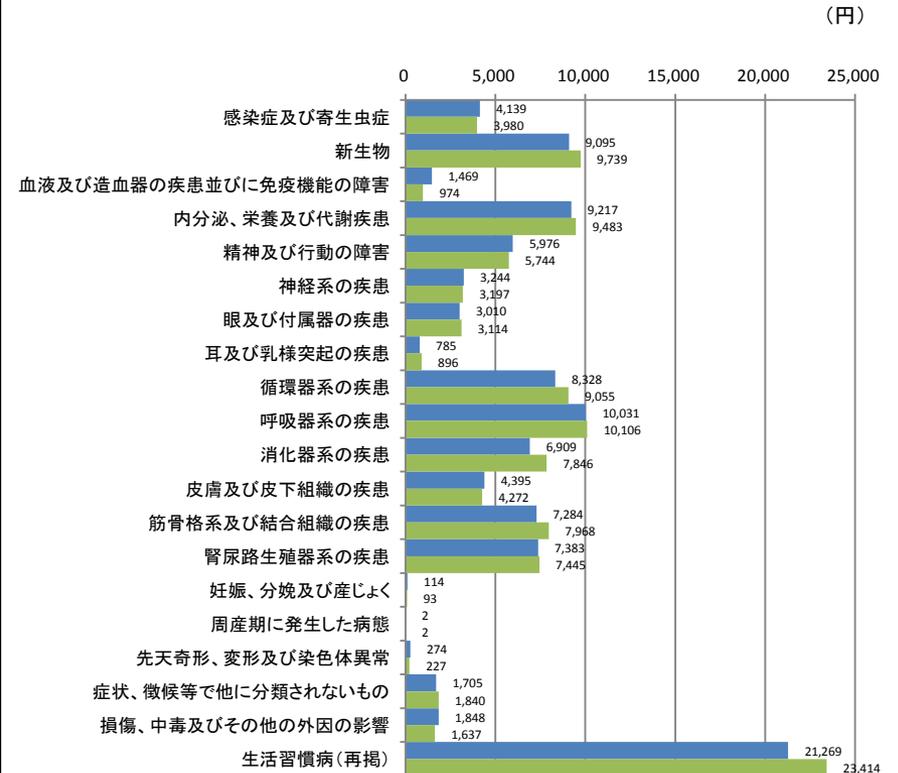
平成28年度疾病別医療費 入院(40～49歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



平成28年度疾病別医療費 入院外(40～49歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

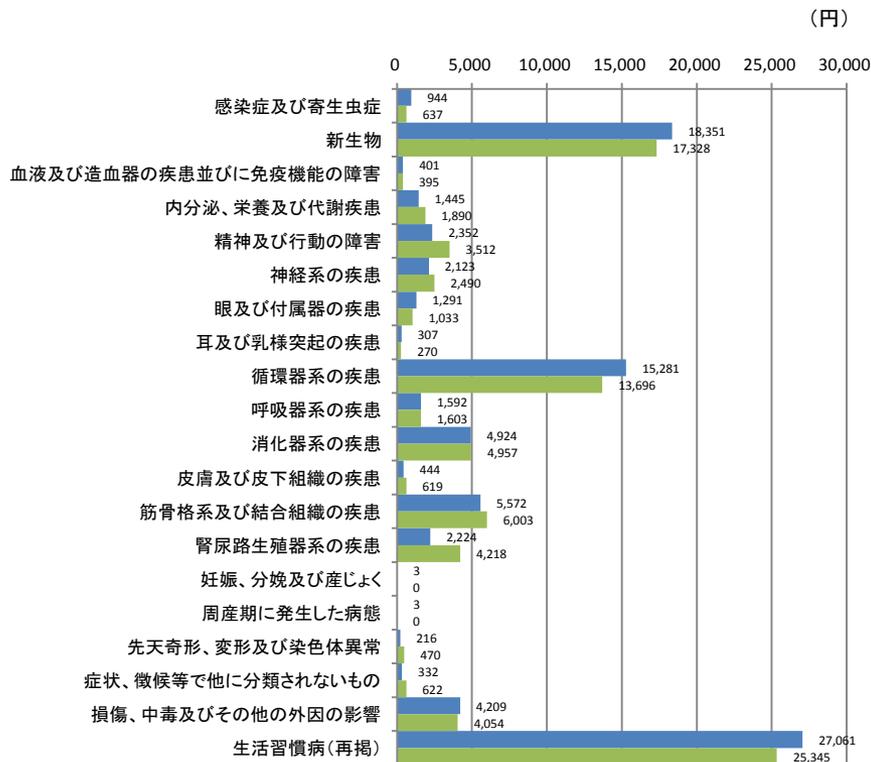
注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

12-7. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)50～59歳

50～59歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「新生物」(全国比0.94倍)、「循環器系の疾患」(全国比0.90倍)が多くを占めていることがわかります。50～59歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「循環器系の疾患」(全国比1.09倍)、「内分泌、栄養及び代謝疾患」(全国比1.07倍)、「新生物」(全国比0.94倍)が多くを占めていることがわかります。

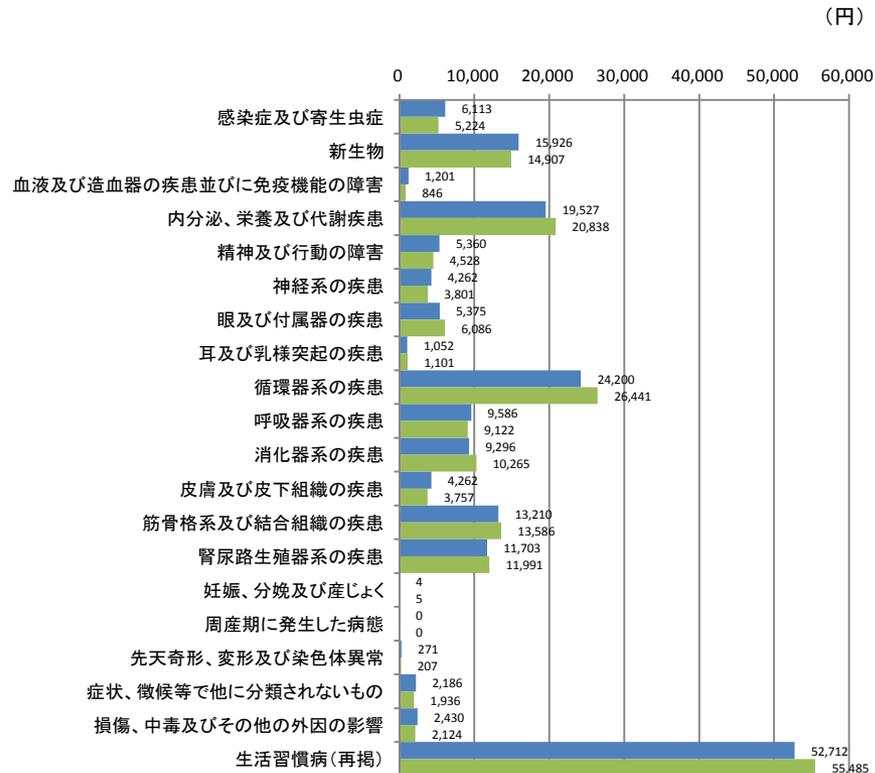
平成28年度疾病別医療費 入院(50～59歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



平成28年度疾病別医療費 入院外(50～59歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

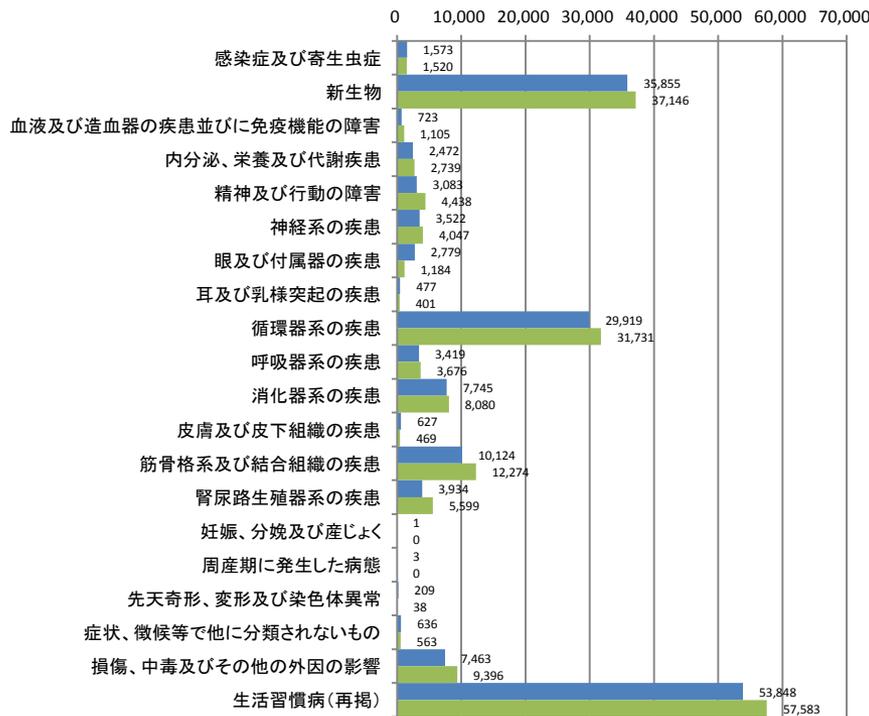
12-8. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)60～69歳

60～69歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「新生物」(全国比1.04倍)、「循環器系の疾患」(全国比1.06倍)が多くを占めていることがわかります。60～69歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「循環器系の疾患」(全国比1.05倍)、「内分泌、栄養及び代謝疾患」(全国比1.10倍)、「新生物」(全国比1.08倍)が多くを占めていることがわかります。

平成28年度疾病別医療費 入院(60～69歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)

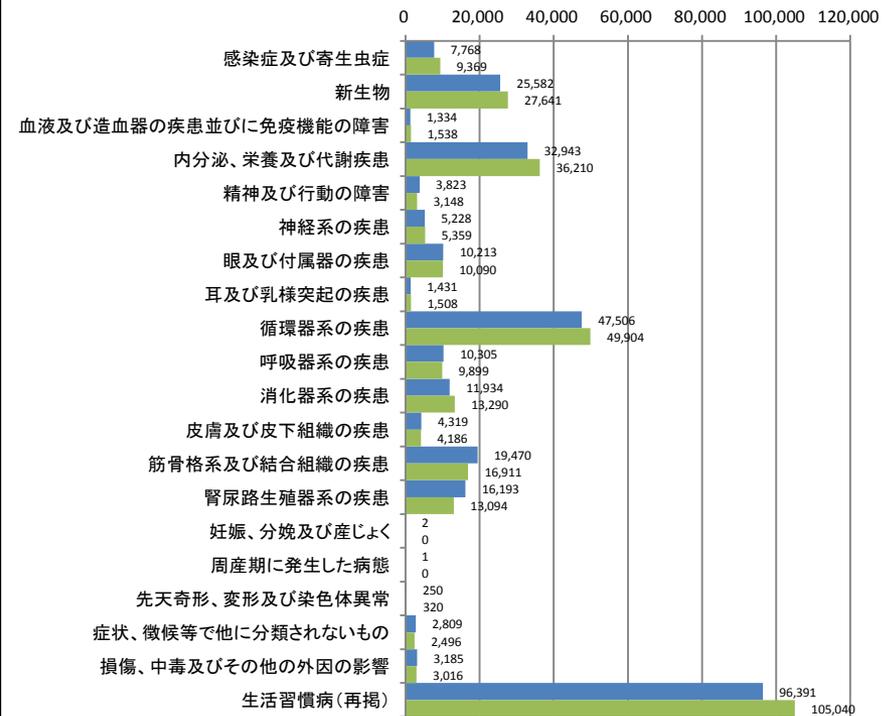
(円)



平成28年度疾病別医療費 入院外(60～69歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島)

(円)



注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

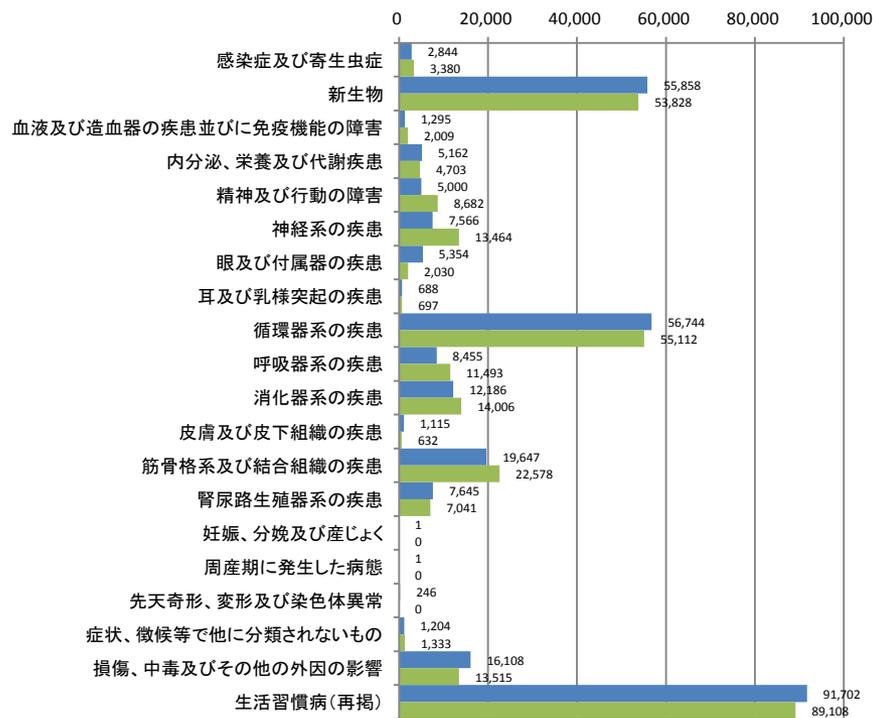
注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

12-9. 疾病別1人当たり医療費の大分類による内訳(入院・入院外)70～74歳

70～74歳(徳島)の入院の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「新生物」(全国比0.96倍)、「循環器系の疾患」(全国比0.97倍)が多くを占めていることがわかります。70～74歳(徳島)の入院外の疾病分類別1人当たり医療費を見ると「循環器系の疾患」(全国比1.09倍)、「内分泌、栄養及び代謝疾患」(全国比0.97倍)、「新生物」(全国比0.96倍)が多くを占めていることがわかります。

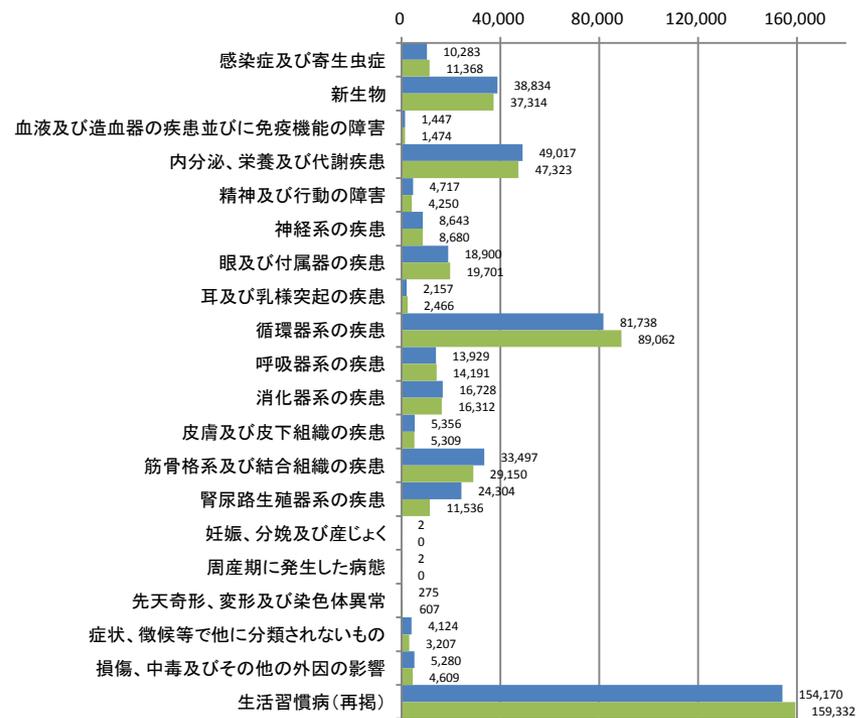
平成28年度疾病別医療費 入院(70～74歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島) (円)



平成28年度疾病別医療費 入院外(70～74歳)

■ 1人当たり医療費(全国) ■ 1人当たり医療費(徳島) (円)

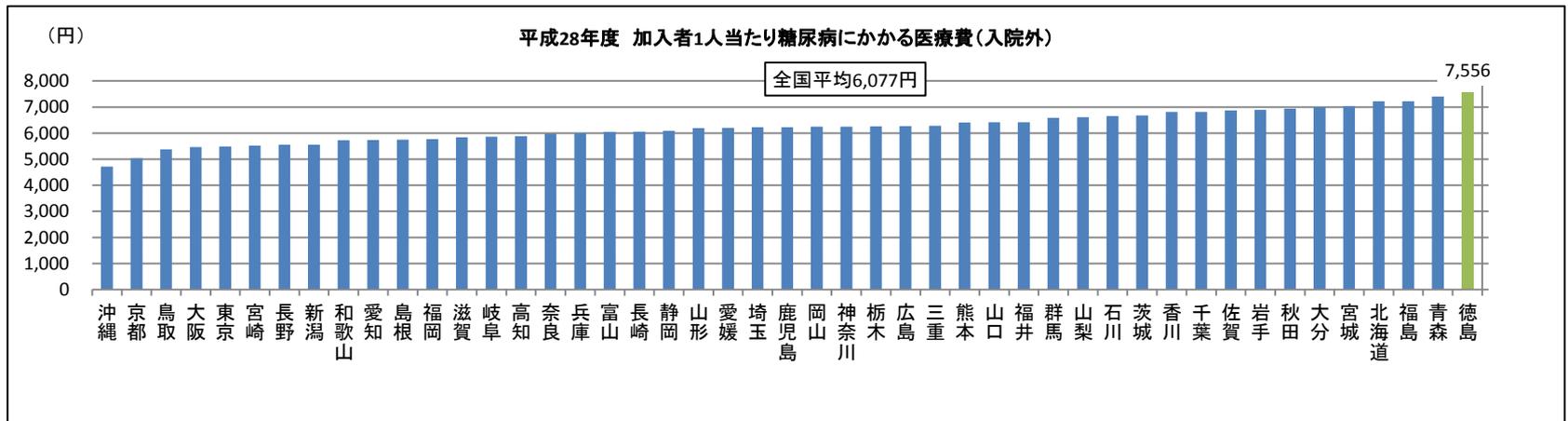
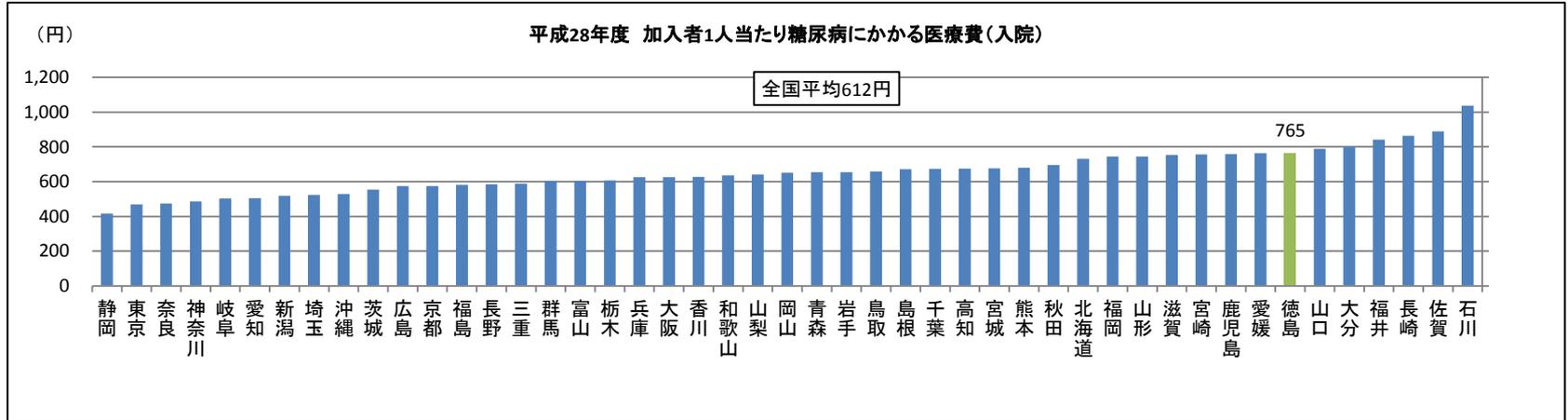


注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

13-1.加入者1人当たり糖尿病・腎不全にかかる医療費の状況(入院・入院外)

平成28年度加入者1人当たり糖尿病にかかる医療費を診療別毎に見ると、入院医療費においては、徳島支部は765円(全国比1.25倍)で、全国で7番目に高くなっています。入院外(調剤を含む)医療費においては、7,556円(全国比1.24倍)で全国で1番高くなっています。

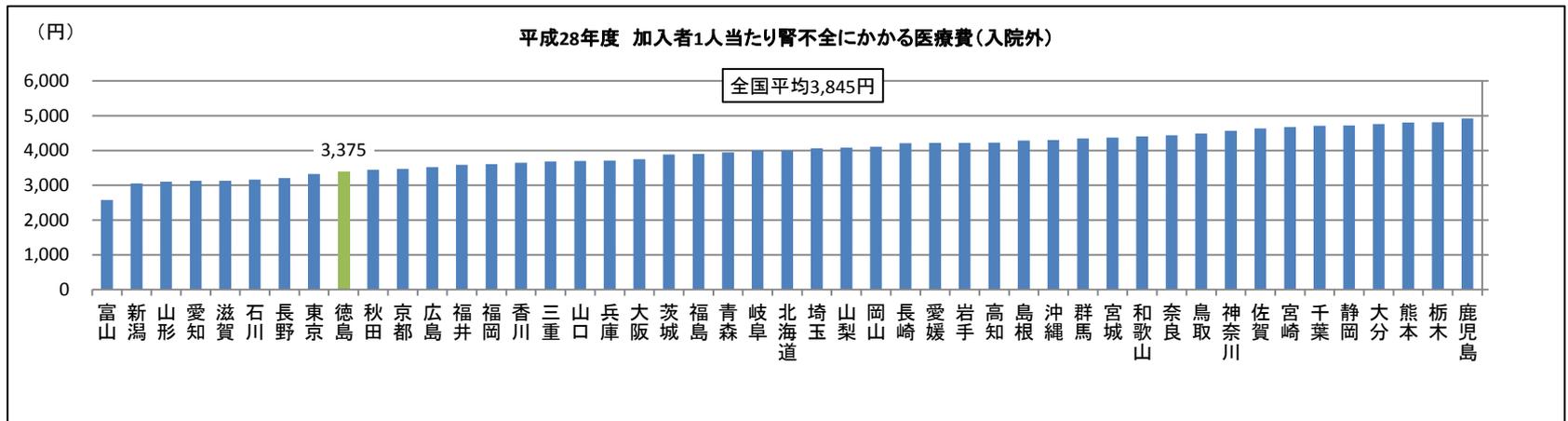
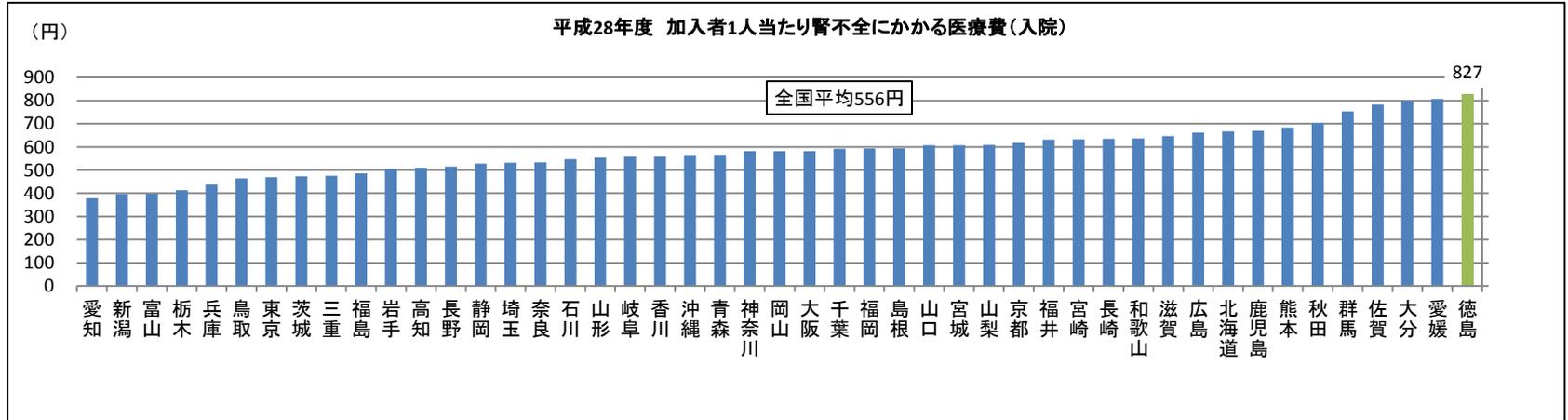


注:医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所:協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

13-2.加入者1人当たり糖尿病・腎不全にかかる医療費の状況(入院・入院外)

平成28年度加入者1人当たり腎不全にかかる医療費を診療別毎に見ると、入院医療費においては、徳島支部は827円(全国比1.49倍)で、全国で1番高くなっています。入院外(調剤を含む)医療費においては、3,375円(全国比0.88倍)で全国で39番目に位置しています。

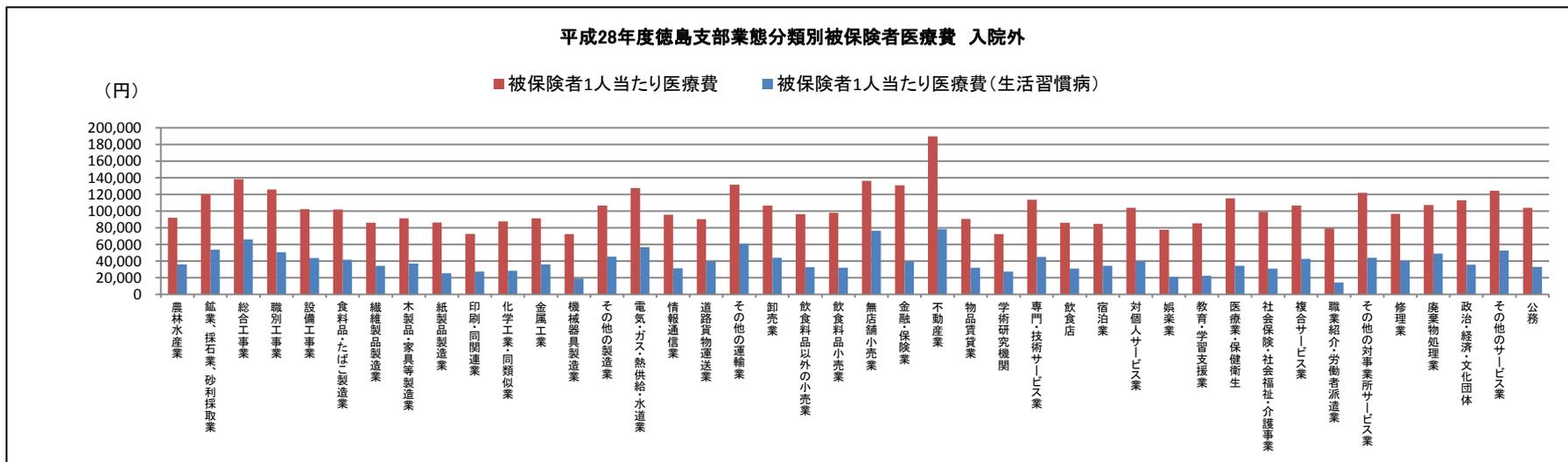
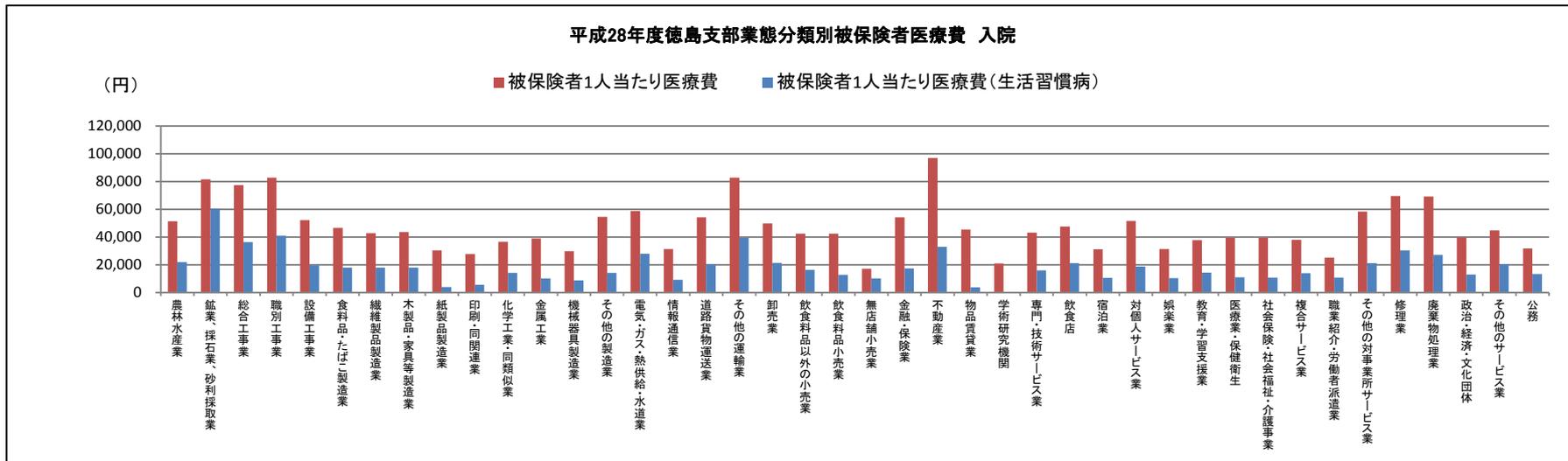


注:医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

出所:協会けんぽ医療費基本情報・加入者基本情報

14. 徳島支部業態分類別被保険者1人当たり医療費の状況(入院・入院外)

徳島支部の業態分類別に1人当たりの入院医療費を見ると、「不動産業」、「その他の運輸業」、「職別工事業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」が高いことがわかります。1人当たりの入院外医療費を見ると、「不動産業」、「総合工事業」、「無店舗小売業」、「その他の運輸業」が高いことがわかります。ただし、被保険者が少ない業種では、偶然変動によって医療費が変化しやすいため、あくまで参考値です。



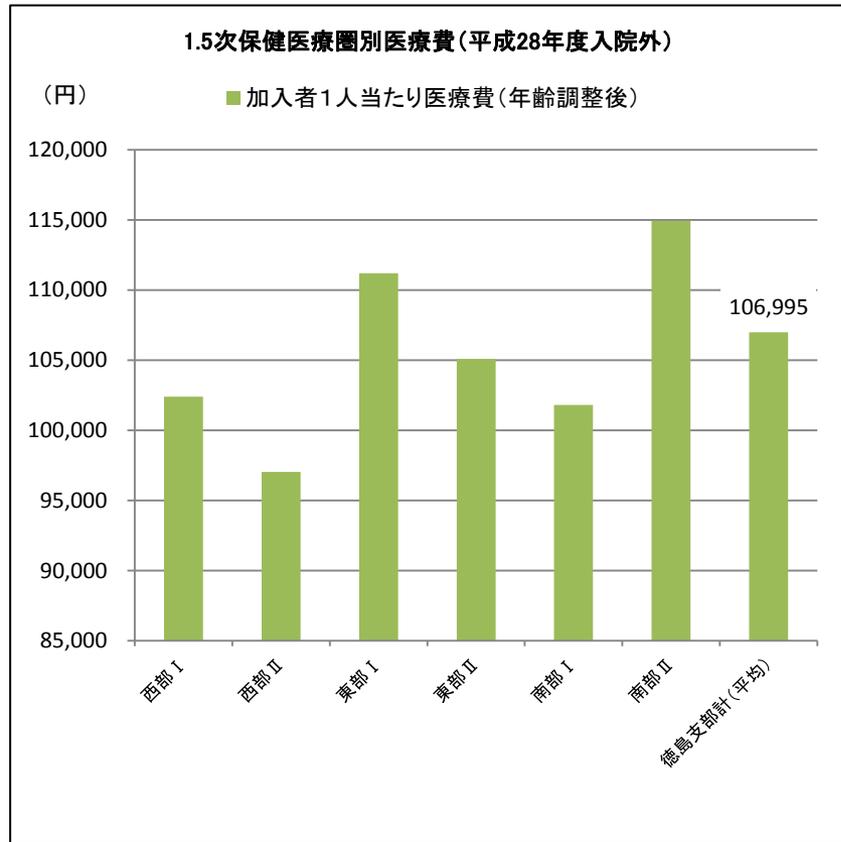
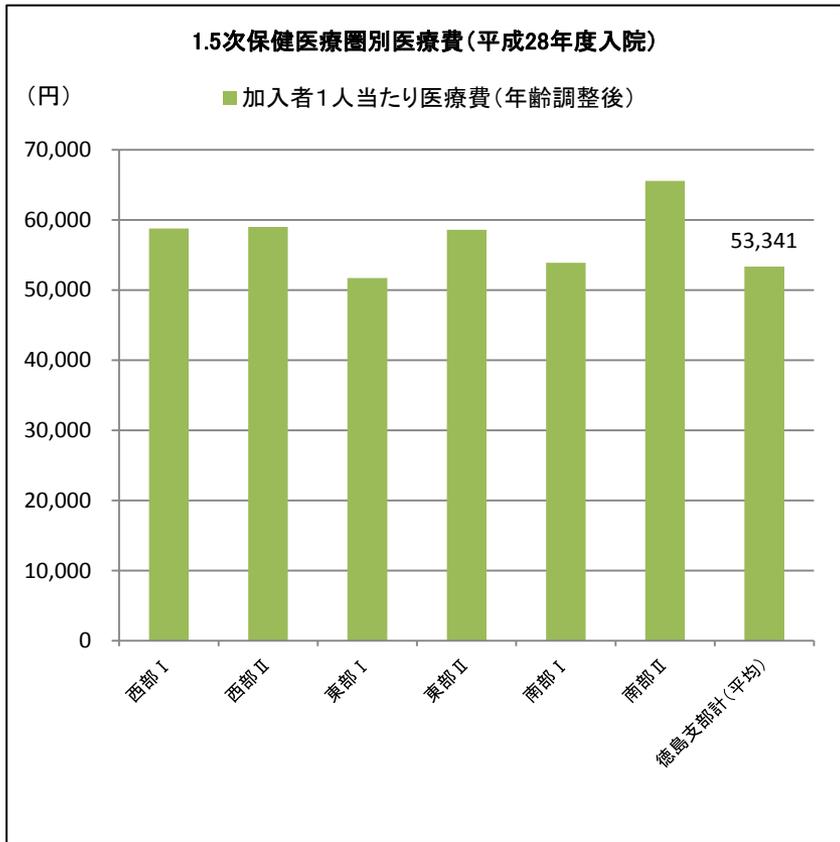
注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

出所: 協会けんぽ業態別医療費基本情報・業態別加入者基本情報

15. 1.5次保健医療圏(県内6圏域)1人当たり医療費の状況(入院・入院外)

1.5次保健医療圏(県内6圏域)別に1人当たりの医療費を見ると、入院・入院外ともに「南部Ⅱ」の医療費が高いことがわかります。また、「西部Ⅱ」と「南部Ⅰ」の1人当たりの入院外医療費が低い傾向であることがわかります。



※1.5次保健医療圏(徳島県保健医療計画):健康増進から、入院医療を含む身近な治療、療養、在宅医療等に対応し、地域特性に応じたきめ細やかな保健医療サービスの提供体制を構築する圏域であり、次の6圏域をいう。

西部Ⅰ(美馬市、つるぎ町) 西部Ⅱ(三好市、東みよし町)

東部Ⅰ(徳島市、鳴門市、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町) 東部Ⅱ(吉野川市、阿波市)

南部Ⅰ(小松島市、阿南市、勝浦町、上勝町、那賀町) 南部Ⅱ(牟岐町、美波町、海陽町)

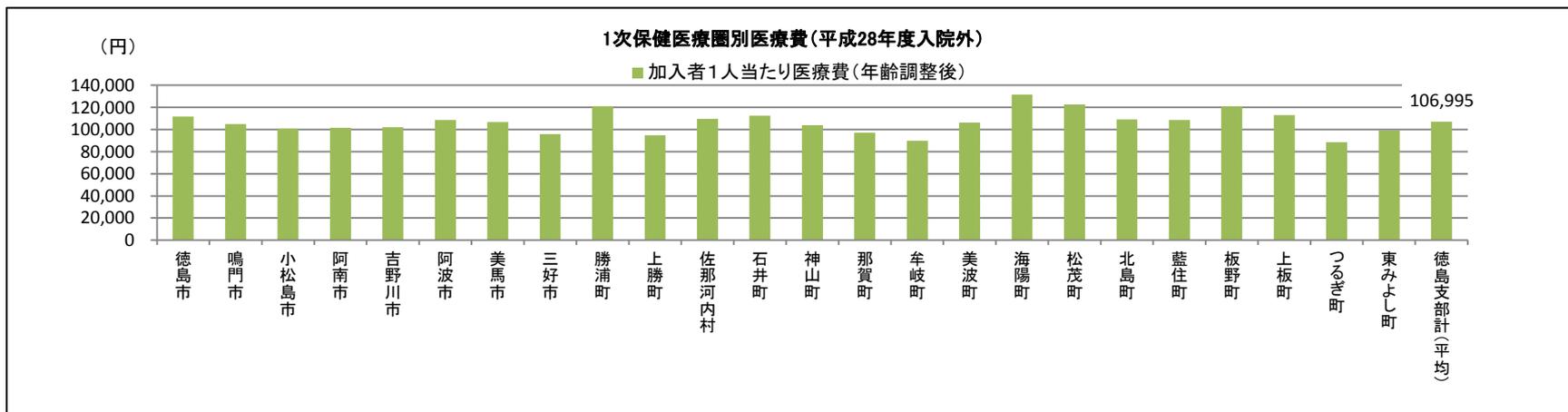
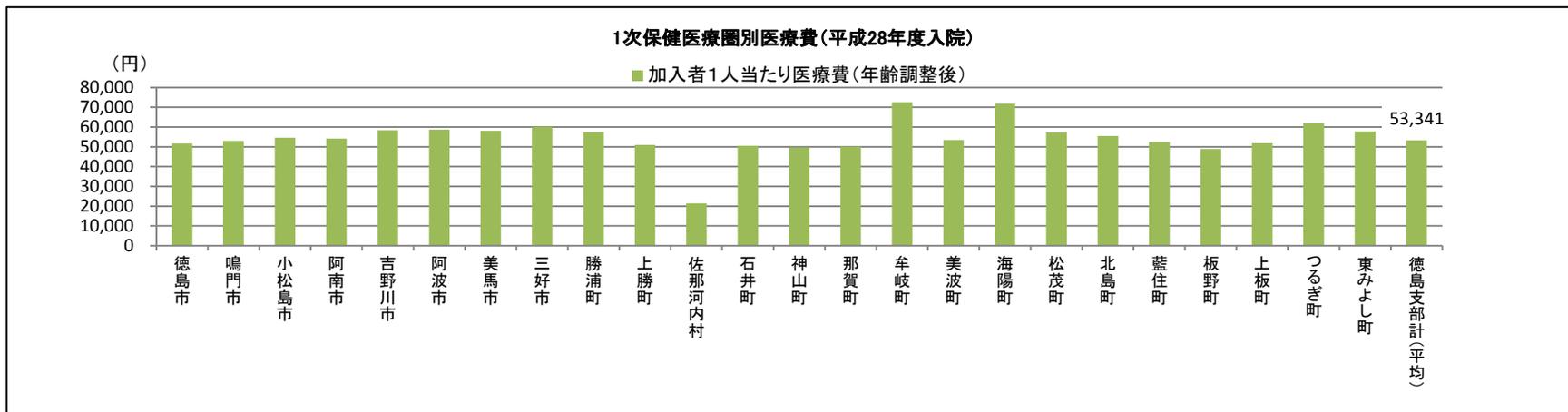
注1:医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2:医療費は、全国平均の年齢構成を基準とした年齢調整(1人当たり医療費から年齢構成の違いによる影響を除去)による。

注3:被保険者が居住する郵便番号をキーにして算出(被扶養者が別世帯であっても被保険者の居住地がキーとなる)。郵便番号が不正等により、集約できない対象者は除外。

16-1. 1次保健医療圏(市町村別) 1人当たり医療費の状況(入院・入院外)

人口が少ない市町村では、偶然変動によって医療費が変化しやすいため、あくまで参考値です。



※1次保健医療圏(徳島県保健医療計画): かかりつけ医・歯科医等、県民が日常生活に密着した保健医療サービスを受ける圏域であり、市町村域をいう。

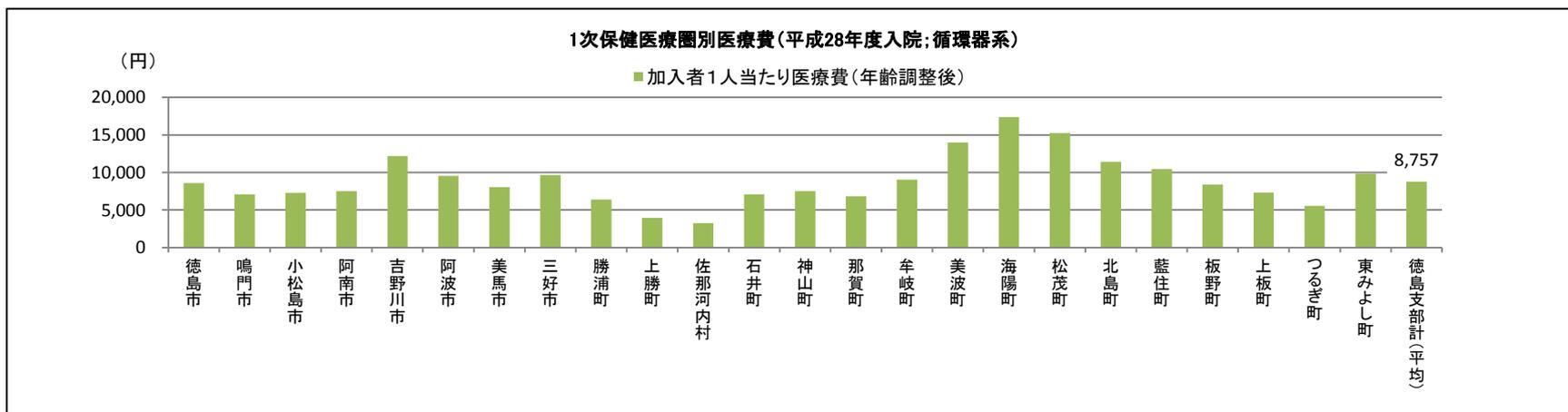
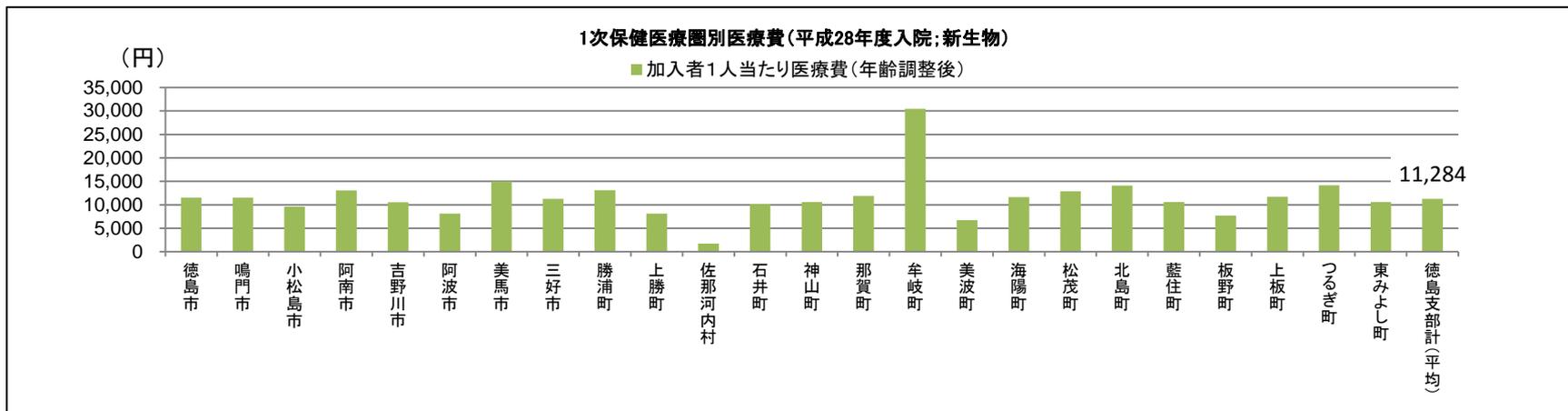
注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 医療費は、全国平均の年齢構成を基準とした年齢調整(1人当たり医療費から年齢構成の違いによる影響を除去)による。

注3: 被保険者が居住する郵便番号をキーにして算出(被扶養者が別世帯であっても被保険者の居住地がキーとなる)。郵便番号が不正等により、集約できない対象者は除外。

16-2. 1次保健医療圏(市町村別) 1人当たり医療費の状況(入院)新生物、循環器系の疾患

人口が少ない市町村では、偶然変動によって医療費が変化しやすいため、あくまで参考値です。



※1次保健医療圏(徳島県保健医療計画): かかりつけ医・歯科医等、県民が日常生活に密着した保健医療サービスを受ける圏域であり、市町村域をいう。

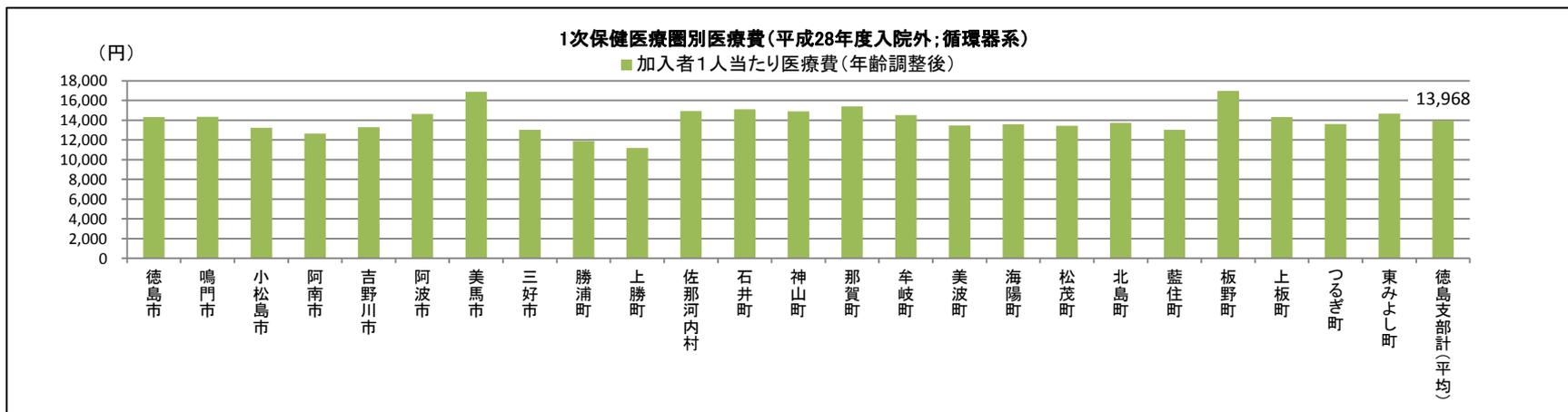
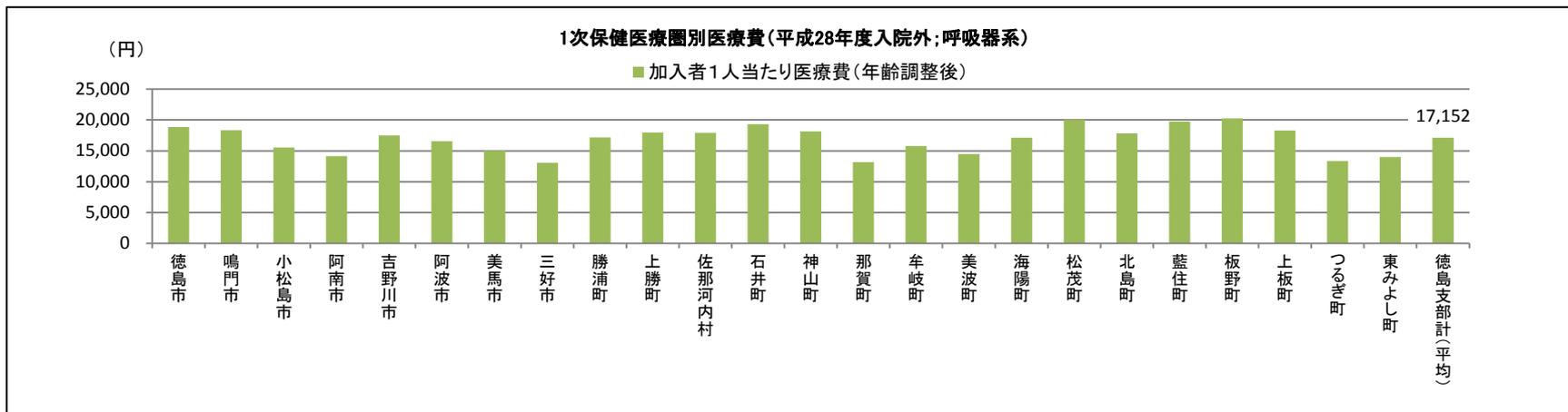
注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 医療費は、全国平均の年齢構成を基準とした年齢調整(1人当たり医療費から年齢構成の違いによる影響を除去)による。

注3: 被保険者が居住する郵便番号をキーにして算出(被扶養者が別世帯であっても被保険者の居住地がキーとなる)。郵便番号が不正等により、集約できない対象者は除外。

16-3. 1次保健医療圏(市町村別) 1人当たり医療費の状況(入院外)呼吸器系、循環器系の疾患

人口が少ない市町村では、偶然変動によって医療費が変化しやすいため、あくまで参考値です。



※1次保健医療圏(徳島県保健医療計画): かかりつけ医・歯科医等、県民が日常生活に密着した保健医療サービスを受ける圏域であり、市町村域をいう。

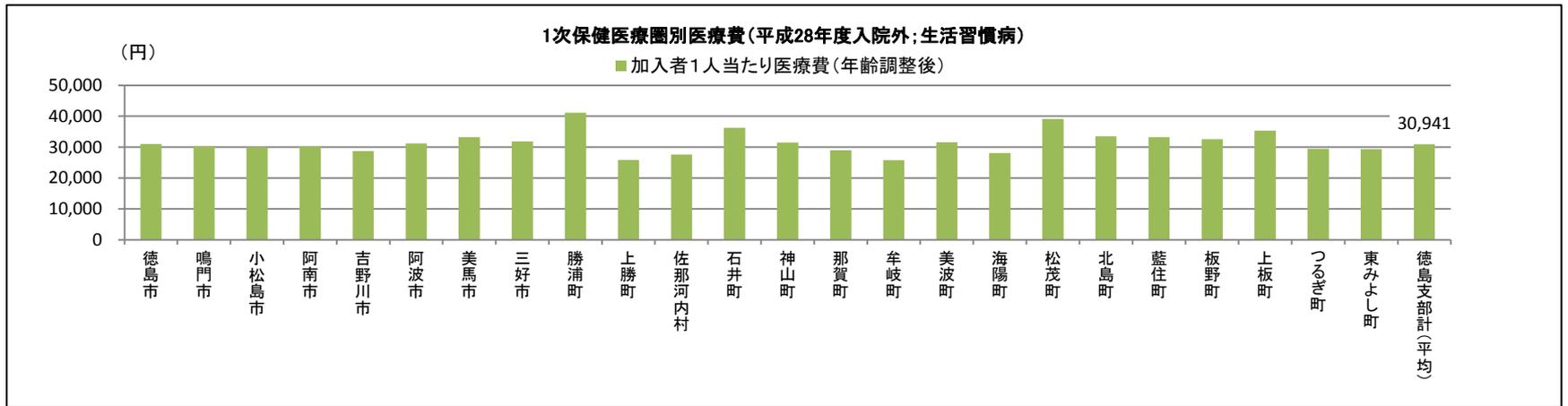
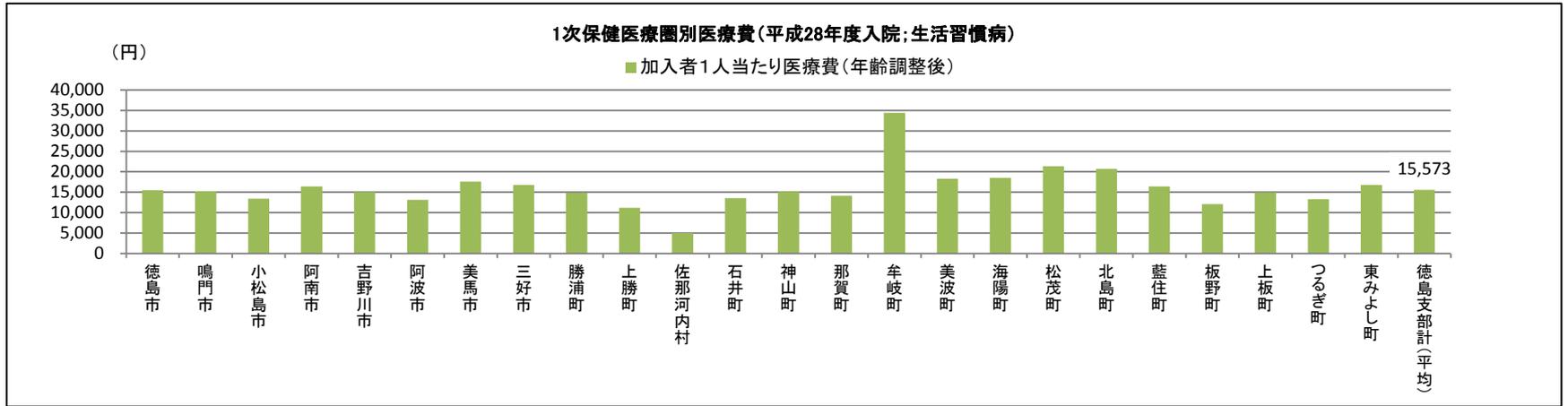
注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 医療費は、全国平均の年齢構成を基準とした年齢調整(1人当たり医療費から年齢構成の違いによる影響を除去)による。

注3: 被保険者が居住する郵便番号をキーにして算出(被扶養者が別世帯であっても被保険者の居住地がキーとなる)。郵便番号が不正等により、集約できない対象者は除外。

16-4. 1次保健医療圏(市町村別) 1人当たり医療費の状況(入院・入院外)生活習慣病

人口が少ない市町村では、偶然変動によって医療費が変化しやすいため、あくまで参考値です。



※1次保健医療圏(徳島県保健医療計画): かかりつけ医・歯科医等、県民が日常生活に密着した保健医療サービスを受ける圏域であり、市町村域をいう。

注1: 医療費は、レセプトの集計値(請求ベース)であり、入院外の医療費は調剤分を含む。

注2: 医療費は、全国平均の年齢構成を基準とした年齢調整(1人当たり医療費から年齢構成の違いによる影響を除去)による。

注3: 生活習慣病は、新生物(良性新生物を除く)、内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患)、循環器系疾患(高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、

脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化(症)、その他の脳血管疾患)に該当するものを分類している。

注4: 被保険者が居住する郵便番号をキーにして算出(被扶養者が別世帯であっても被保険者の居住地がキーとなる)。郵便番号が不正等により、集約できない対象者は除外。

出所: 協会けんぽ郵便番号別医療費基本情報・郵便番号別加入者基本情報

17.平均寿命・健康寿命の全国比較、10大死因による死亡者数及び死亡率

徳島県の平均寿命(平成22年度)は、男性79.44歳、女性86.21歳となっており、全国平均並み(男性79.59歳、女性86.35歳)となっています。徳島県の健康寿命(平成25年度)は、男性69.85歳、女性73.44歳となっており、男女とも全国平均(男性71.19歳、女性74.21歳)より低く、全国順位では男性47位、女性43位と下位にあります。

徳島県の死因別死亡率の全国における状況(平成28年度)をみると、10大死因すべてが全国平均より高くなっています。また、腎不全と肝疾患が全国で2番目に高い死亡率となっているほか、肺炎や慢性閉塞性肺疾患についても高い死亡率となっています。

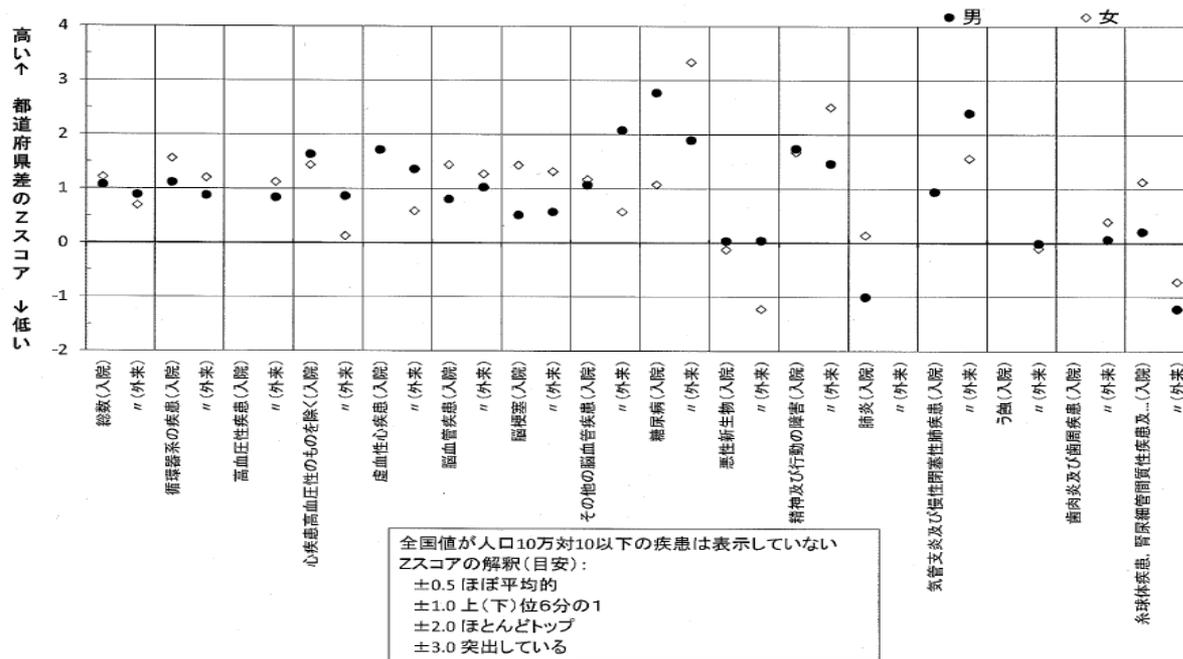
区分		徳島県	全国
H22 平均寿命	男性	79.44	79.59
	女性	86.21	86.35
H25 健康寿命	男性	69.85	71.19
	女性	73.44	74.21

死因	徳島県				全国		
	死亡数	占有率	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率	死因順位
総死亡数	9,855	100.0%	1,321.0	10	1,307,748	1,046.0	-
県順位							
1 悪性新生物	2,478	25.1%	332.2	18	372,986	298.3	1
2 心疾患	1,393	14.1%	186.7	19	198,006	158.4	2
3 肺炎	1,058	10.7%	141.8	4	119,300	95.4	3
4 脳血管疾患	781	7.9%	104.7	22	109,320	87.4	4
5 老衰	730	7.4%	97.9	14	92,806	74.2	5
6 不慮の事故	337	3.4%	45.2	5	38,306	30.6	6
7 腎不全	242	2.5%	32.4	2	24,612	19.7	7
8 慢性閉塞性肺疾患	134	1.4%	18.0	4	15,686	12.5	11
9 自殺	134	1.4%	18.0	17	21,017	16.8	8
10 肝疾患	122	1.2%	16.4	2	15,773	12.6	10
12 糖尿病	106	1.1%	14.2	8	13,480	10.8	12

18.患者調査年齢調整受療率

徳島県は、悪性新生物(外来)女性、肺炎(入院)男性、糸球体疾患・腎尿管間質性疾患(外来)男性・女性を除く、生活習慣病等疾患の受療率が平均以上であり、なかでも糖尿病の受療率が全国上位となっている。また、三大疾病にも分類できる、心疾患、脳血管疾患、総じて循環器系の疾患の受診率が高い状況となっている。その他、精神及び行動の障害、気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患の外来の受療率が高めという結果となっている。

平成23年患者調査 年齢調整受療率(入院・外来)の特徴要約 徳島

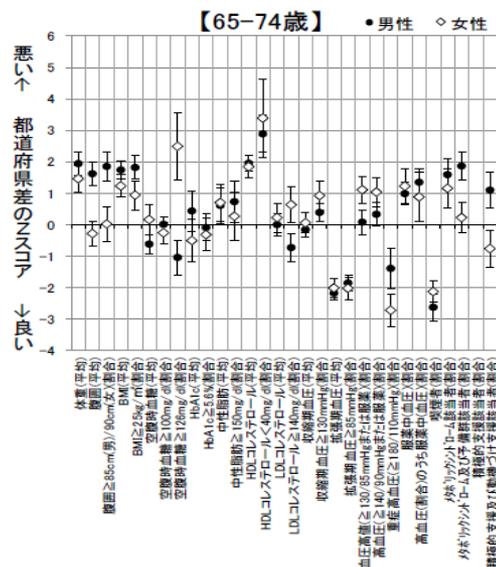
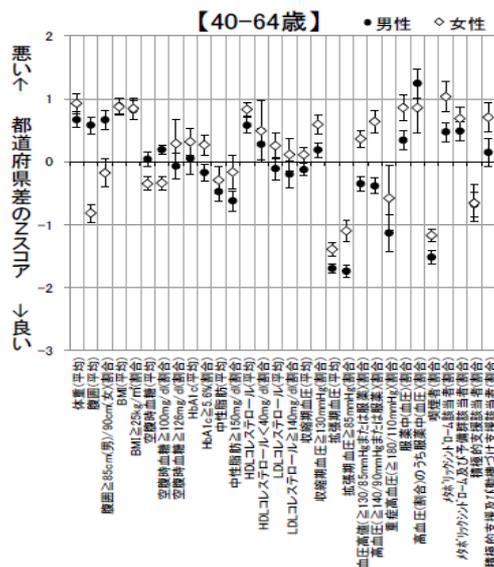
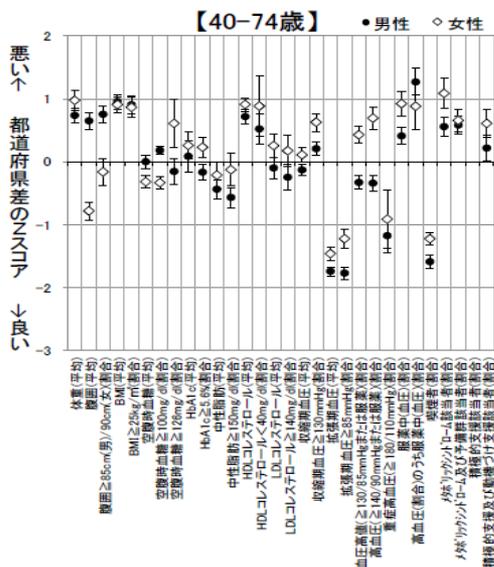


19.特定健診におけるリスク因子の支部別特徴の要約(Zスコア)

健診データ(40~74歳)により徳島支部のリスク因子の特徴を見ると、体重、BMI、HDLコレステロールのリスク因子・スコアが全体平均より高く(悪い状態)、肥満傾向が高いことが示唆される。また、血圧の服薬割合が全体平均より高く、収縮期血圧が平均値付近・拡張期血圧が平均値より低めであるため、血圧が医療によって管理されていることが示唆される。空腹時血糖、中性脂肪、LDLコレステロールのリスク因子・スコアは平均値付近、喫煙者は平均値より低い(良い状態)結果となっている。40-74歳と40-64歳とのリスク因子にあまり差はみられない。

2015年度特定健診データの支部別特徴の要約

徳島



値は年齢調整値に基づく「都道府県差のZスコア」と標準誤差Zスコアの解釈(目安):

- <-0.5 良い
- ±0.5 ほぼ平均的
- +1.0 上位6分の1
- +2.0 ほとんどトップ
- +3.0 突出している

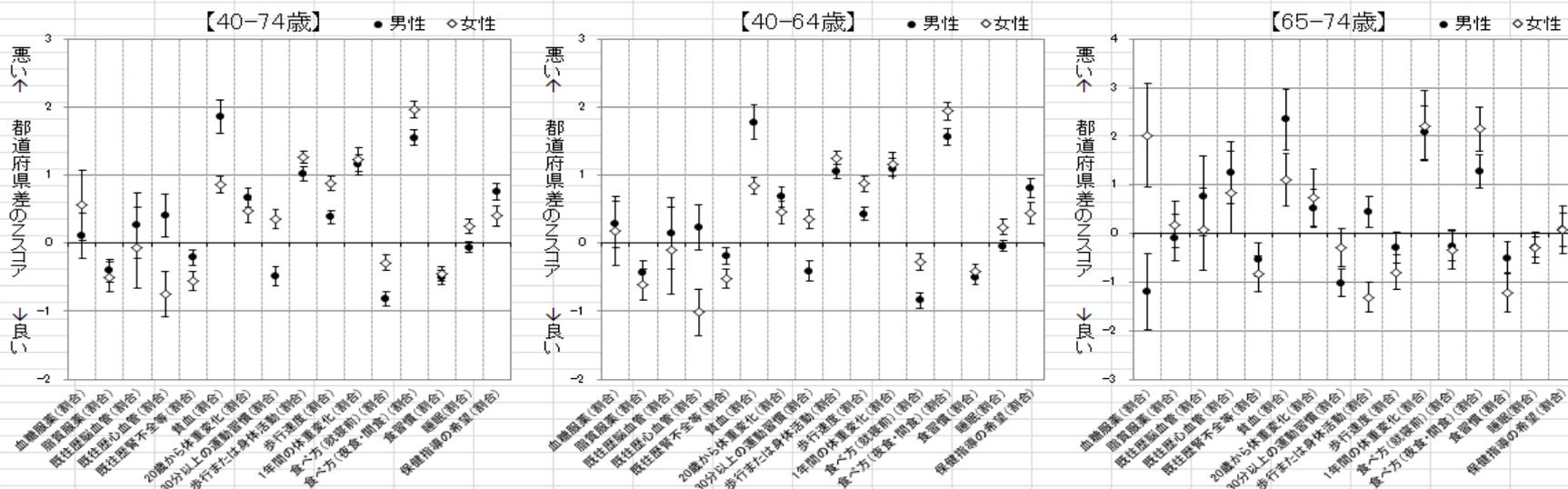
(注)HDLコレステロール(平均)のみ値が低いほどZスコアは高い。他は値が高いほどZスコアが高い。
服薬中(血圧)割合は、高いことが必ずしも悪いとは限らないので解釈には注意。

20.問診票における回答状況の要約(Zスコア)

問診票データ(40~74歳)により徳島支部の回答状況(生活習慣)を見ると、貧血スコア(医師から貧血と言われたことがある回答割合)、食べ方(夜食・間食)スコア(夕食後に間食をとることが週に3回以上ある回答割合)が全体平均より高く(悪い状態)、次いで、1年間の体重変化スコア(1年間に体重の増減が±3kg以上あった回答割合)が全体平均より高い結果となっている。また、歩行または身体活動スコアも、全国平均より高い結果(日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者の割合が全国平均より多い)により、徳島支部は全国に比べ暴飲暴食・運動不足者が多く、自身の健康管理意識の低さが示唆される。40-74歳と40-64歳との生活習慣にあまり差はみられない。

2015年度問診票データの支部別特徴の要約

徳島



値は年齢調整値に基づく「都道府県差のZスコア」と標準誤差

Zスコアの解釈(目安):

- <-0.5 良い
- ±0.5 ほぼ平均的
- +1.0 上位8分の1
- +2.0 ほとんどトップ
- +3.0 突出している

①注)運動習慣、身体活動、歩行速度、睡眠、保健指導希望は割合が高いほど「良い」、その他は高いほど「悪い」となっている。

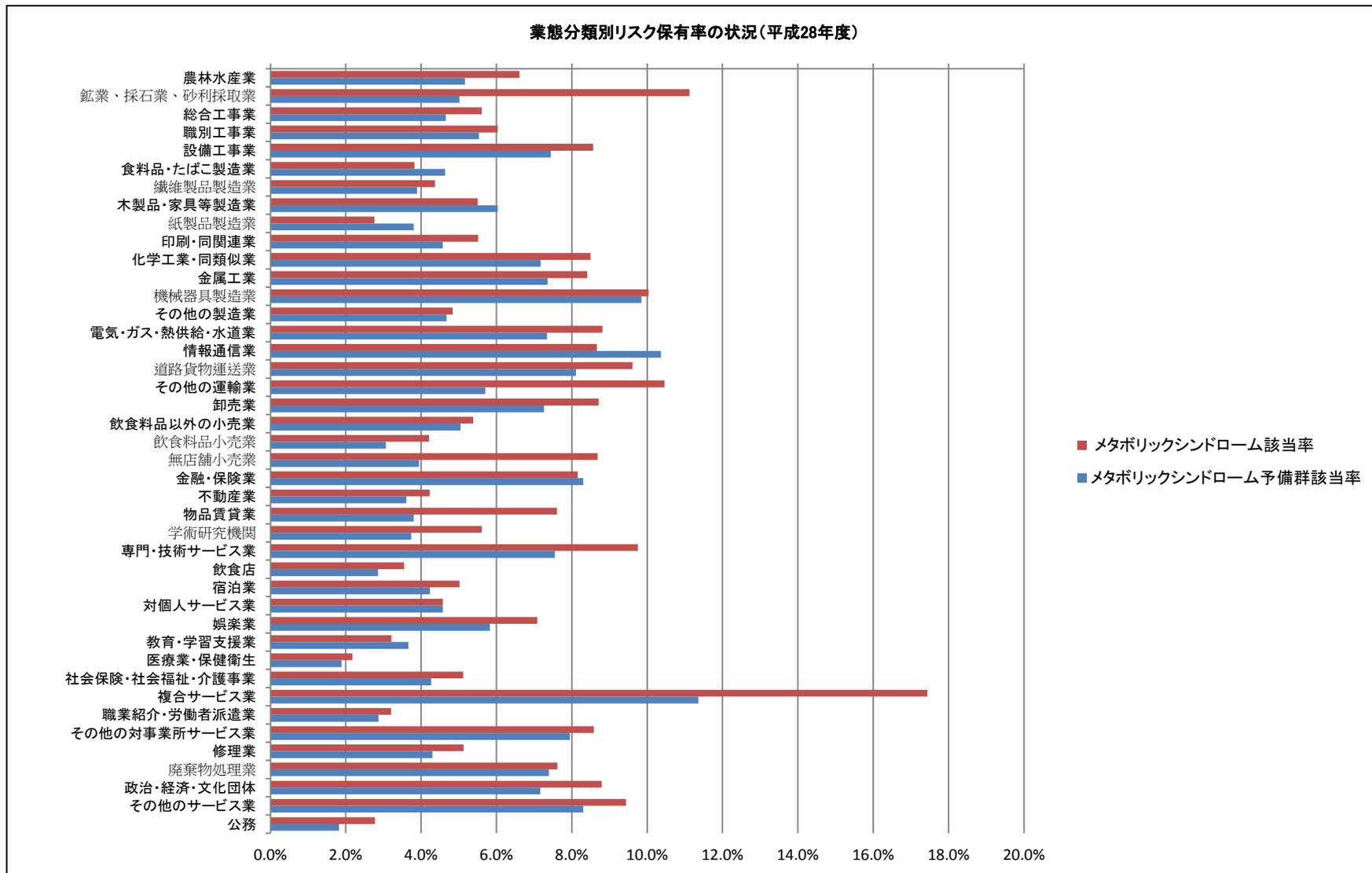
1年間の体重変化は割合が高いほどZスコアが高いが、減少者を含む可能性に注意。

服薬(割合)は、高いことが必ずしも悪いとは限らないので解釈にご注意。

21.徳島支部業態分類別リスク保有率の状況

徳島支部の業態分類別にリスク保有率を見ると、「複合サービス業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「その他の運輸業」においてが高いことがわかります。ただし、被保険者が少ない業種では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。

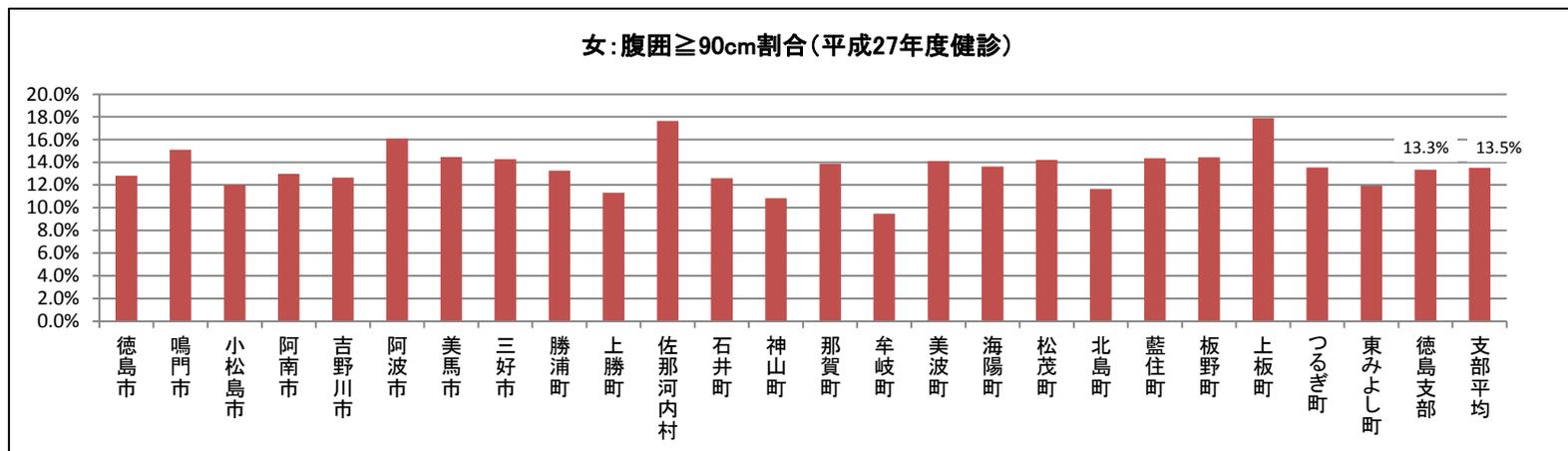
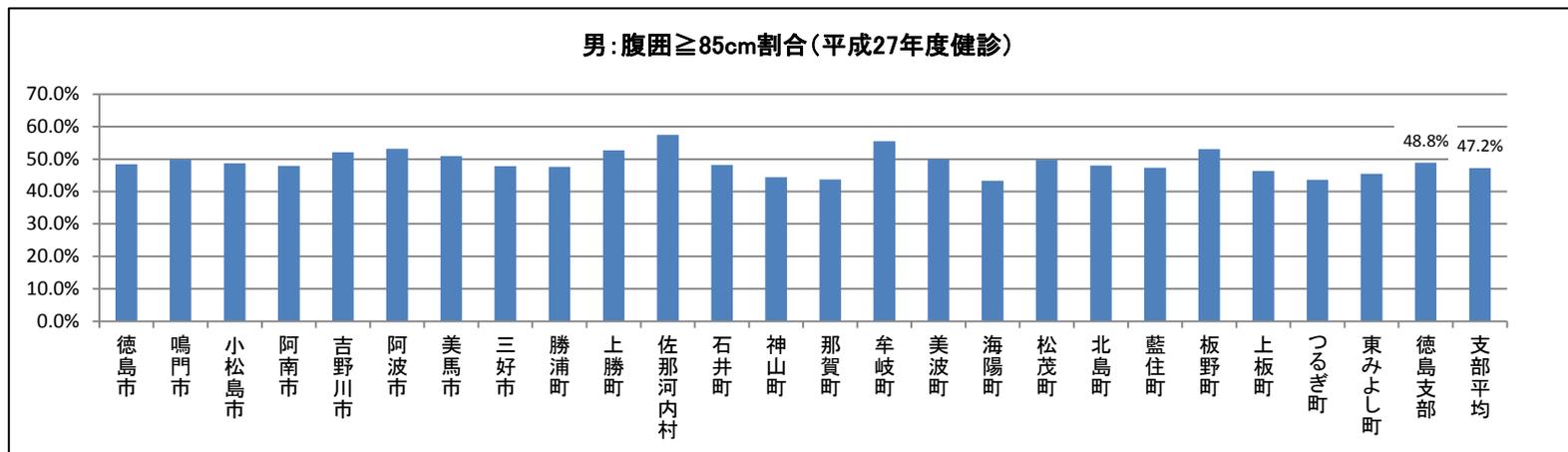
業態分類別リスク保有率の状況(平成28年度)



出所:平成28年度健診受診者リスト・業態別加入者基本情報
 ※40歳以上の被保険者をキーとして抽出。

22-1.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



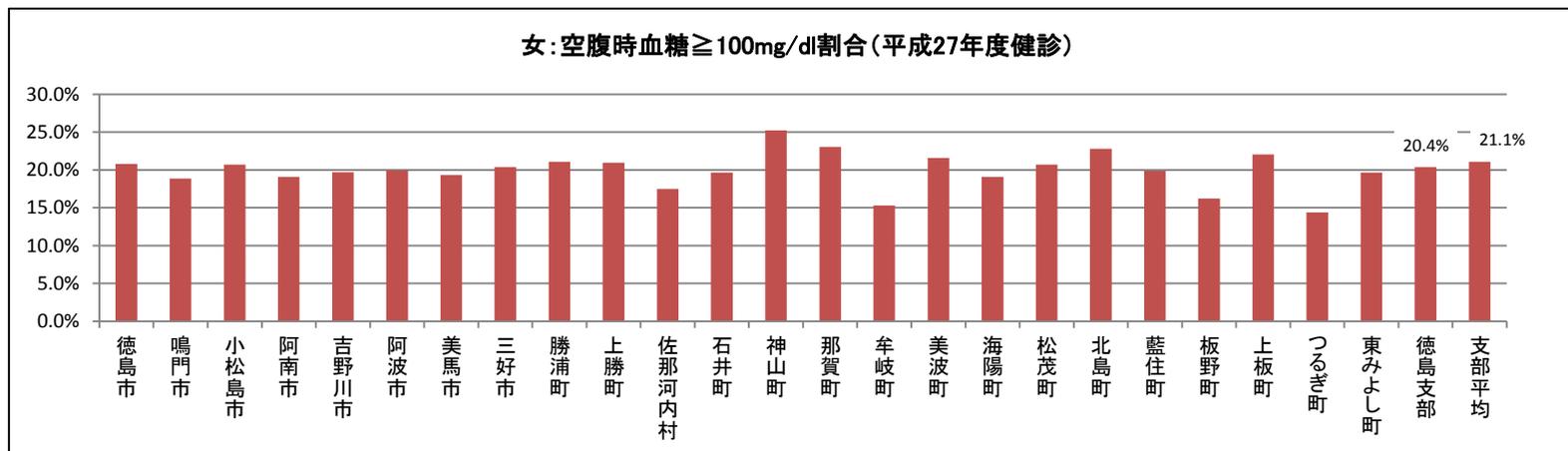
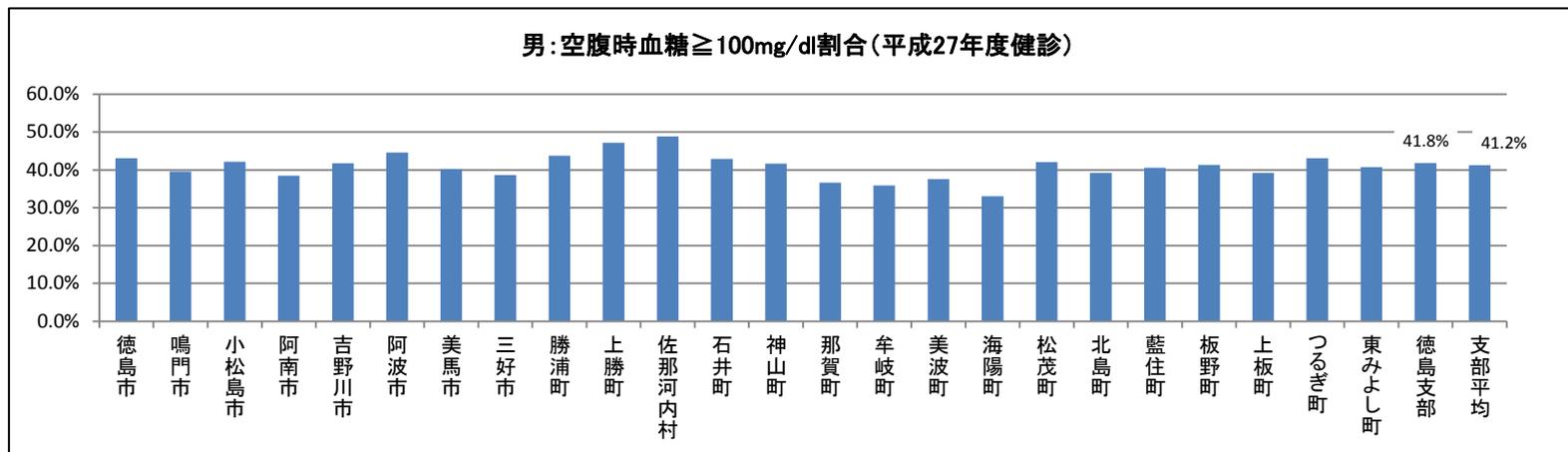
研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

22-2.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



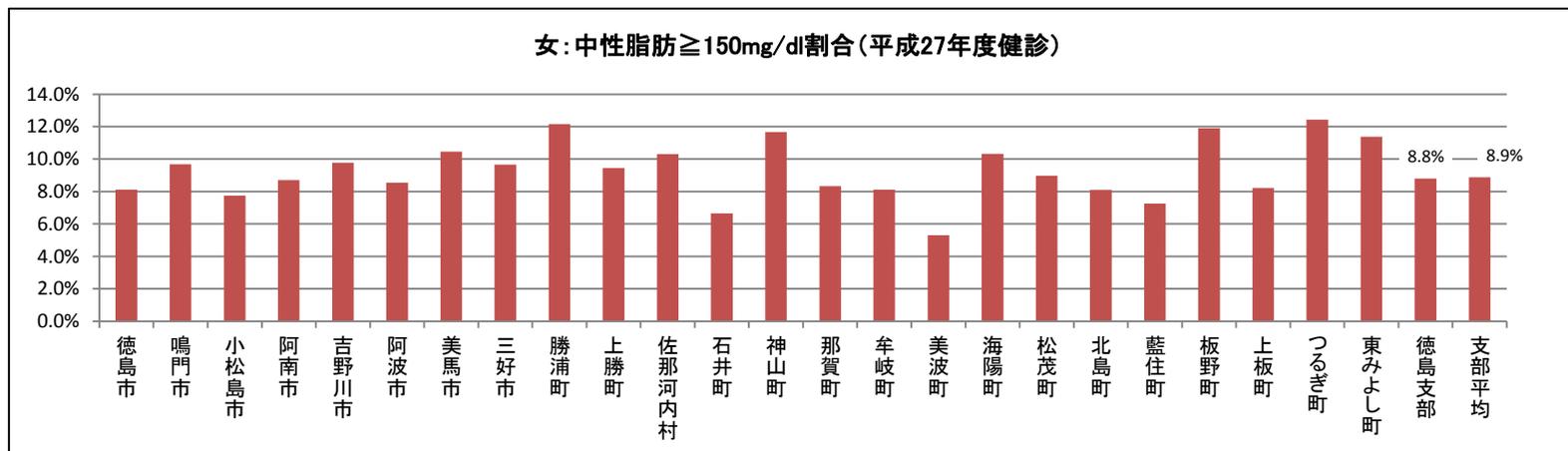
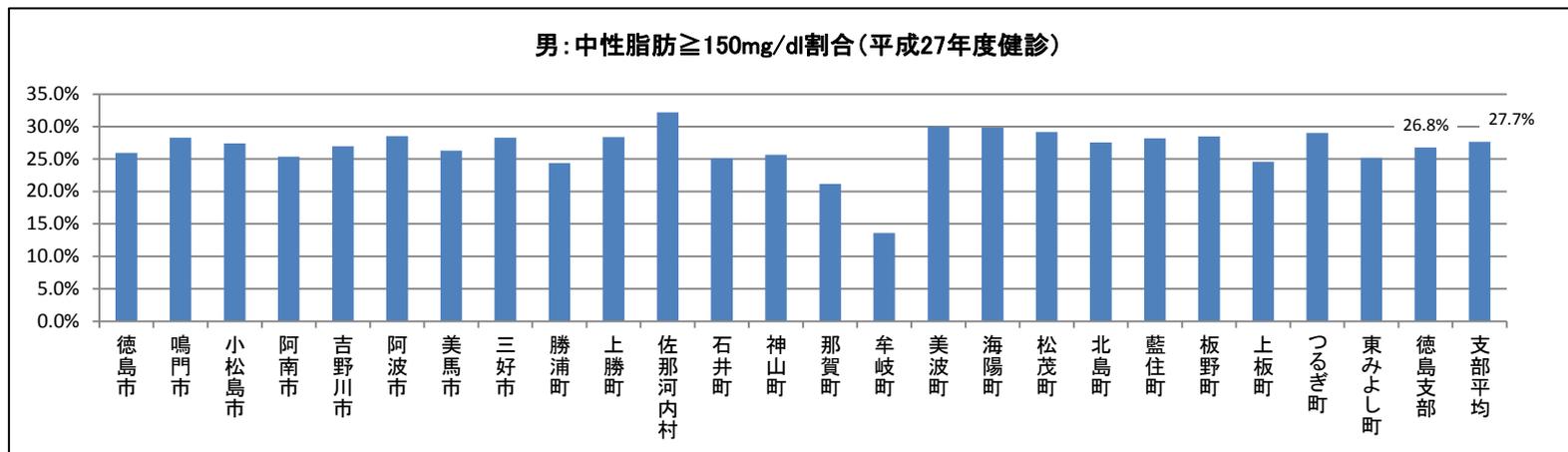
研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

22-3.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



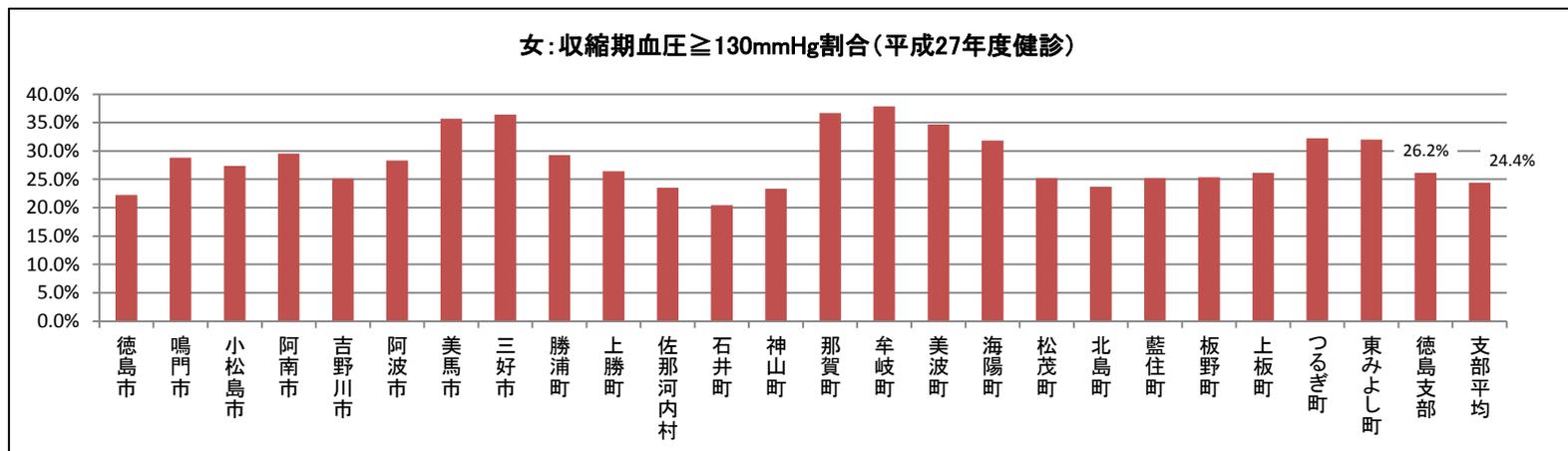
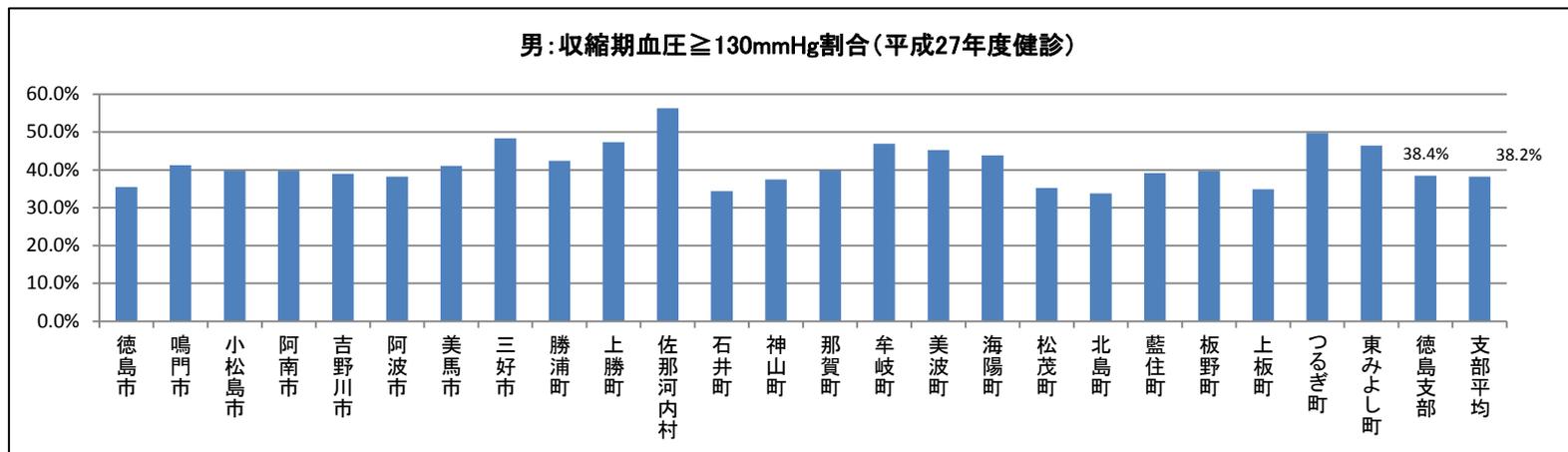
研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

22-4.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



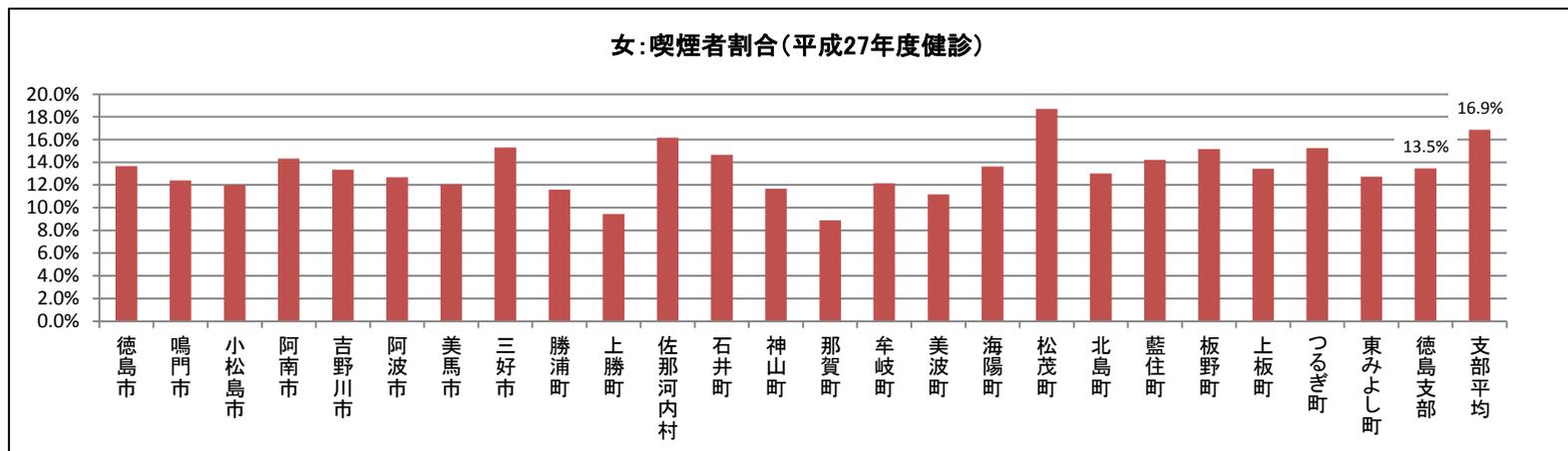
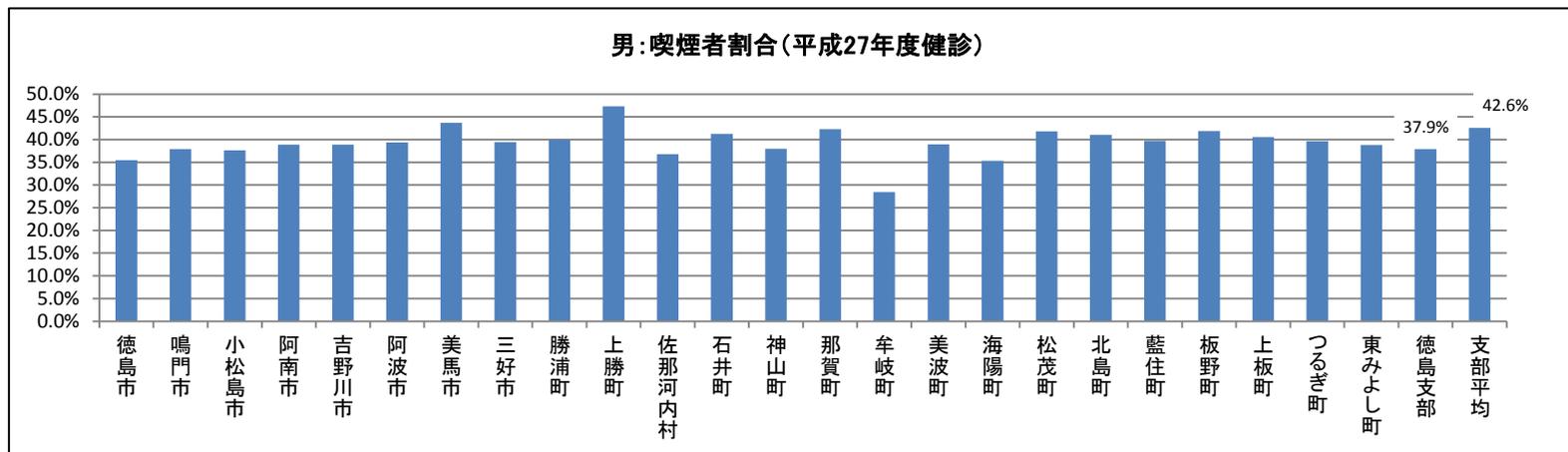
研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

22-5.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



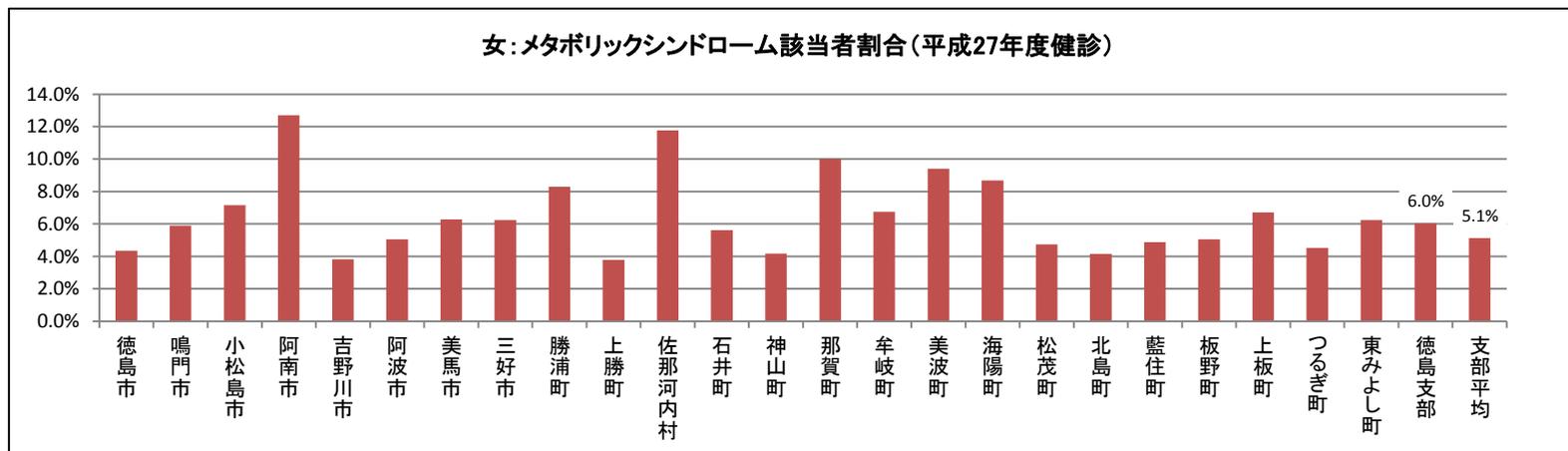
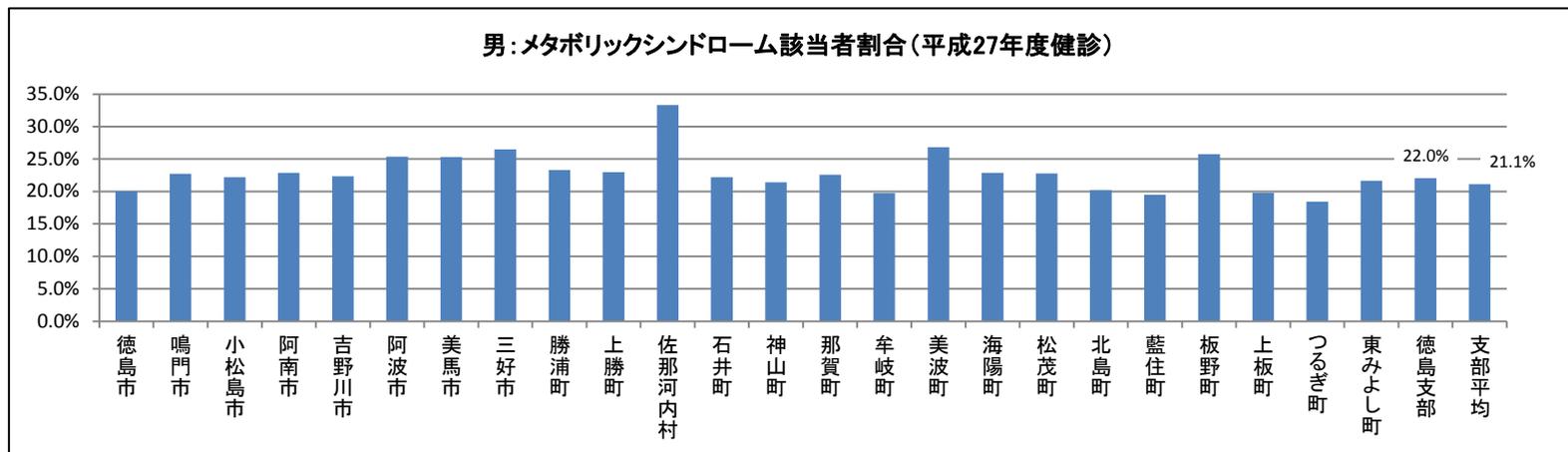
研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

22-6.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



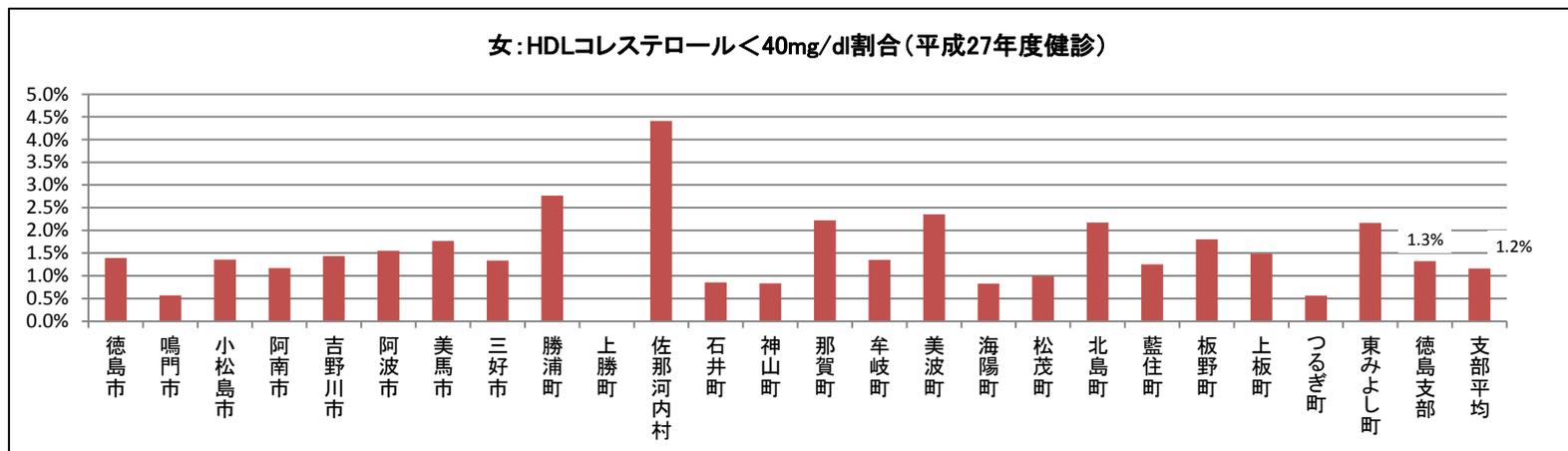
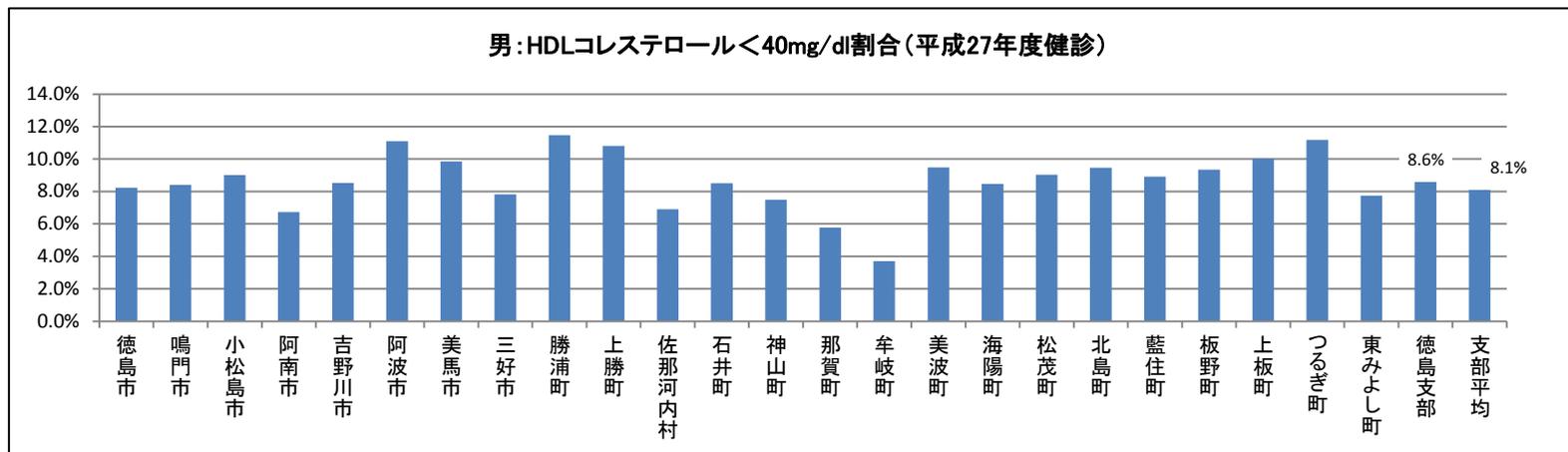
研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

22-7.1次保健医療圏別(市町村別)リスク保有率等の状況

人口が少ない市町村では、健康指標が偶然変動によって変化しやすいため、あくまで参考値です。



研究第171026-01号バックデータ

※対象者は平成27年度に生活習慣病予防健診を受けた40～74歳の被保険者。

※市町村集計は被保険者の居住地による。

23. 特定保健指導(積極的支援)による検査値の比較

特定保健指導の参加者(修了者)は、不参加者と比較すると、改善効果幅が大きいことが確認できます。

